

## (2) ボバース記念病院

## ボバース記念病院

## 目 次

1	概要	263
	(1) 理念・基本方針	263
	(2) ボバース記念病院概要	264
	(3) 社会医療法人 大道会 ボバース記念病院 組織図	270
2	活動報告	271
	(1) 診療部	271
	① 診療科	271
	② 医療社会事業課（医療相談室）	272
	(2) 歯科診療部	276
	(3) 看護部	278
	① 外来	280
	② 在宅ケア科	280
	③ 2階病棟	282
	④ 3階病棟	282
	(4) リハビリテーション部	283
	(5) 診療技術部	288
	① 薬剤科	288
	② 検査科	290
	③ 画像診断科	291
	④ 栄養サービス科	293
	(6) 事務部	295
	(7) 全体研修会	296

3 統計	297
(1) 退院患者数に関する資料	298
①診療科別 月別患者数	298
②病棟別 月別患者数	298
③診療科別 在院日数	299
④診療科別 性別患者数及び死亡患者数	299
⑤診療圏別 患者数	300
⑥診療科別 退院後の転帰	303
⑦診療科別 年齢階層別患者数	304
⑧紹介元医療機関別件数	305
⑨診療科別 紹介元医療機関別件数	306
⑩紹介先医療機関別件数	307
⑪診療科別 紹介先医療機関別件数	308
(2) 疾病に関する資料	310
①疾病別 診療科別患者数	310
②疾病別 在院日数別患者数	311
③疾病別 年齢階層別患者数	312
④診療科別 疾病頻度順	313
(3) 初診患者数に関する資料	316
①診療科別 月別患者数	316
②診療科別 性別患者数	316
③診療圏別 患者数	317
④紹介元医療機関別 件数	320
⑤診療科別 紹介率	320
⑥診療科別 紹介元医療機関件数	321
(4) 平均在院日数・病棟別・月別	322
(5) 病床稼働率・病棟別・月別	322
(6) 外来患者診療科別延べ数	322

# 1 概要

## (1) 理念・基本方針

### [ 理 念 ]

- ア. 地域の皆様に貢献できる安全で安心していただける医療を提供します
- イ. 障がいを持つ方々へボバースアプローチ（神経発達学的治療）に基づく質の高いリハビリテーション医療を提供します。

### [ 基本方針 ]

- ア. 地域の医療を守る身近な病院を目指し取り組みます
- イ. ボバースアプローチとリハビリテーション医療の実践を行います
- ウ. 地域医療と外来診療の充実をはかります
- エ. 快適環境のもとで、通院・入院治療を援助します
- オ. 職員の人材育成と福祉向上に努めます

## (2) ボバース記念病院概要

(平成 30 年 4 月 1 日 現在)

開設者氏名	理事長 大道 道大
施設の名称	社会医療法人 大道会 ボバース記念病院
施設の所在地	大阪府大阪市城東区東中浜 1 丁目 6 番 5 号
設立年月日	昭和 57 年 6 月 1 日
職員数	179 名（医師 9 名、歯科医師 3 名、薬剤師 4 名、看護師 48 名、理学療法士 30 名、作業療法士 18 名、言語療法士 7 名、放射線技師 3 名、その他 57 名）非常勤 50 名
表者氏名	管理者名 荒井 洋

## (施設の概況)

敷地・建物	敷地 4,374.56 m <sup>2</sup>	延床 8,983.85 m <sup>2</sup> （鉄筋造 4 階建）
病床数	98 床	
標榜科目	神経内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科	
患者数	入院 78 名（1 日平均）	外来 126 名（1 日平均）
設備機器等	<p>診察室、処置室等</p> <p>内科室 8 室、整形外科室 2 室、外科室 1 室、泌尿器科室 1 室 中央処置室、採尿室、医療相談室、手術室、中央材料室 薬局、エックス線撮影室、生理検査室、臨床検査室 理学療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、診療情報管理室</p> <p>病棟関係</p> <p>ナースステーション、処置室、リネン室、洗濯室、患者浴室、洗面室、デイルーム、管理当直室等</p> <p>機器関係</p> <p>全身用 CT スキャナー 16 列、脳波測定器、腹部エコー、頸部エコー、心臓エコー、心電図、一般エックス線機器、透視撮影機器、歯科用パノラマ撮影、歯科用デンタル撮影、トレッドミル</p>	

## (事業の概況)

昭和 57 年 6 月	ボバース記念病院を開設（病床数 124 床）
昭和 57 年 10 月	86 床増床（病床数 210 床）
昭和 58 年 2 月	運動療法、作業療法施設基準の認可
昭和 58 年 5 月	72 床増床（282 床）
昭和 58 年 6 月	基準給食・基準寝具の認可
昭和 61 年 5 月	CT スキャン導入

平成 1 年 5 月	物理療法室増設
平成 1 年 5 月	MR I 導入
平成 2 年 3 月	基準看護・基本看護の承認
平成 4 年10 月	基準看護・特 1 類の承認
平成 5 年 9 月	基準看護・特 2 類の承認
平成 6 年 7 月	歯科センター開設
平成 6 年10 月	新看護体系移行
平成10 年10 月	18 床減少 (264 床)、療養型病床群 54 床設置
平成12 年 4 月	一般病棟Ⅱ群③ 81 床、障害者病棟 129 床、療養型病床群 54 床の認可
平成12 年 7 月	療養型病床群→回復期リハビリテーション病棟 (54 床) への変更認可
平成12 年 8 月	障害者病棟 129 床Ⅱ群②の認可
平成13 年 6 月	障害者病棟 129 → 177 床、一般病棟 81 床→ 33 床への変更認可
平成18 年 1 月	耳鼻咽喉科開設 (大道病院より移設)
平成18 年 4 月	102 床で運営開始 (看護単位は 6 単位→ 2 単位) 管理医師 今林美喜夫院長が就任
平成19 年 4 月	全面改修工事を終え、新たに 102 床の入院、外来とも全施設がフル稼働可能となり、運営開始
平成19 年 4 月	耳鼻咽喉科が常勤体制に戻る
平成19 年 5 月	耳鼻咽喉科関連施設基準が認可される 高度難聴指導管理料・補聴器適合検査
平成19 年 6 月	看護基準の上位取得 (102 床) 障害者施設等入院基本料 13 : 1 → 障害者施設等入院基本料 10 : 1
平成20 年 2 月	利用者の利便性のため、南館 1 階に売店を設置する
平成20 年 7 月	障害者施設入院基本料 10 : 1 41 床 亜急性期入院医療管理料 10 床 回復期リハビリテーション病棟入院料 2
平成20 年10 月	障害者施設入院基本料→一般病棟入院基本料 10 : 1 変更
平成20 年11 月	耳鼻咽喉科診療休止 高度難聴指導管理料・補聴器適合検査は返上
平成21 年 1 月	回復期リハビリテーション病棟入院料 2 → 1 にランクアップ 同時に、重症者回復期病棟加算届出
平成22 年 1 月	耳鼻咽喉科廃止
平成22 年 7 月	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 リハビリテーション充実加算 休日リハビリテーション提供体制加算
平成22 年11 月	マルチスライス全身 CT 導入 (更新)
平成24 年 4 月	一般撮影機器更新 島津製作所 D150LC-45EL
平成24 年10 月	ボバース記念病院開設 30 周年記念講演会開催 講師：鈴木恒彦氏 (第 2 代目ボバース記念病院院長) テーマ：ボバース記念病院 30 年の歩み
平成25 年 3 月	短時間通所リハビリテーション事業届出 定員 10 名 短時間予防通所リハビリテーション事業届出
平成25 年 4 月	障害者総合支援法 医療型短期入所空床型利用事業届出 定員 1 名 大阪市重症心身障がい児 (者) 医療型短期入所実施機関登録 指定期間：H25 年 4 月 1 日～ H28 年 3 月 31 日

平成 25 年 12 月	国土交通省「短期入所協力病院」通知
平成 26 年 9 月	一般病棟の亜急性期病床（14 床）廃止 物理療法の廃止
平成 26 年 10 月	一般病棟 51 床にて運用開始 法人 60 周年記念式典開催
平成 26 年 11 月	医事会計システムと再来受付機の更新
平成 27 年 3 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更 短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更 サービス提供日時追加 （変更前）木曜日 午前 09 時 55 分～午前 11 時 00 分 （変更後）火曜日 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分 木曜日 午前 09 時 55 分～午前 11 時 00 分 利用定員変更 （変更前） 10 名 （変更後） 5 名
平成 27 年 4 月	温冷配膳車による病院給食の配膳開始
平成 28 年 1 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更 短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更 サービス提供日時追加 （変更前）火曜日 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分 木曜日 午前 09 時 55 分～午前 11 時 00 分 （変更後）月曜日 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分 火曜日 午前 11 時 00 分～午後 12 時 05 分 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分 水曜日 午前 09 時 55 分～午前 11 時 00 分 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分 木曜日 午前 09 時 55 分～午前 11 時 00 分 午前 11 時 00 分～午後 12 時 05 分 金曜日 午前 09 時 55 分～午前 11 時 00 分
平成 28 年 1 月	在宅療養支援病院届出 MR I 稼働停止
平成 28 年 4 月	大阪市重症心障がい児（者）医療型短期入所実施機関指定 指定期間：H28 年 4 月 1 日～H29 年 3 月 31 日
平成 28 年 5 月	許可病床数変更 102 床 → 98 床 一般病棟 10 対 1 51 床 → 47 床 回復期リハビリテーション病棟 51 床（変更なし）
平成 28 年 6 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更 短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更 利用定員変更 （変更前） 5 名 （変更後） 6 名
平成 28 年 7 月	一般病棟 10 対 1 の中に地域包括ケア病床 10 床の届出 一般病棟 10 対 1 37 床 地域包括ケア病床 10 床

- 平成 28 年 8 月 短時間通所リハビリテーション運営規定変更  
短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更  
サービス提供日時追加  
 (変更前) 月曜日 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分  
 火曜日 午前 11 時 00 分～午後 12 時 05 分  
 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分  
 水曜日 午前 9 時 55 分～午前 11 時 00 分  
 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分  
 木曜日 午前 9 時 55 分～午前 11 時 00 分  
 午前 11 時 00 分～午後 12 時 05 分  
 金曜日 午前 9 時 55 分～午前 11 時 00 分  
 (変更後) 月曜日～金曜日  
 午前 9 時 55 分～午前 11 時 00 分  
 午前 11 時 00 分～午後 12 時 05 分  
 午後 13 時 25 分～午後 14 時 30 分  
 午後 14 時 30 分～午後 15 時 35 分
- 平成 29 年 1 月 骨密度測定検査機器稼働停止
- 平成 29 年 4 月 管理医師 荒井 洋院長 就任  
大阪市重症心障がい児(者)医療型短期入所実施機関指定  
登録期間：H29 年 4 月 1 日～H30 年 3 月 31 日
- 平成 29 年 7 月 回復期リハビリテーション病棟 体制強化加算 1 届出
- 平成 29 年 9 月 一般病棟入院基本料 10：1 → 障害者施設等入院基本料 10：1 変更
- 平成 29 年 10 月 特殊疾患入院施設管理加算 届出
- 平成 29 年 12 月 泌尿器科 診療休止
- 平成 30 年 2 月 標榜科目変更 リハビリテーション科・神経内科・整形外科・小児科・歯科  
小児歯科・歯科口腔外科へ
- 平成 30 年 4 月 大阪市重症心身障がい児(者)医療型短期入所実施機関登録  
登録期間：H30 年 4 月 1 日～H31 年 3 月 31 日  
障がい者施設等入院基本料 10：1  
注 9 看護補助加算・注 10 夜間看護体制加算 届出  
医療安全対策地域連携加算 2 届出  
回復期リハビリテーション病棟入院料 1 届出 (実績指数 37 以上)

## 各種指定

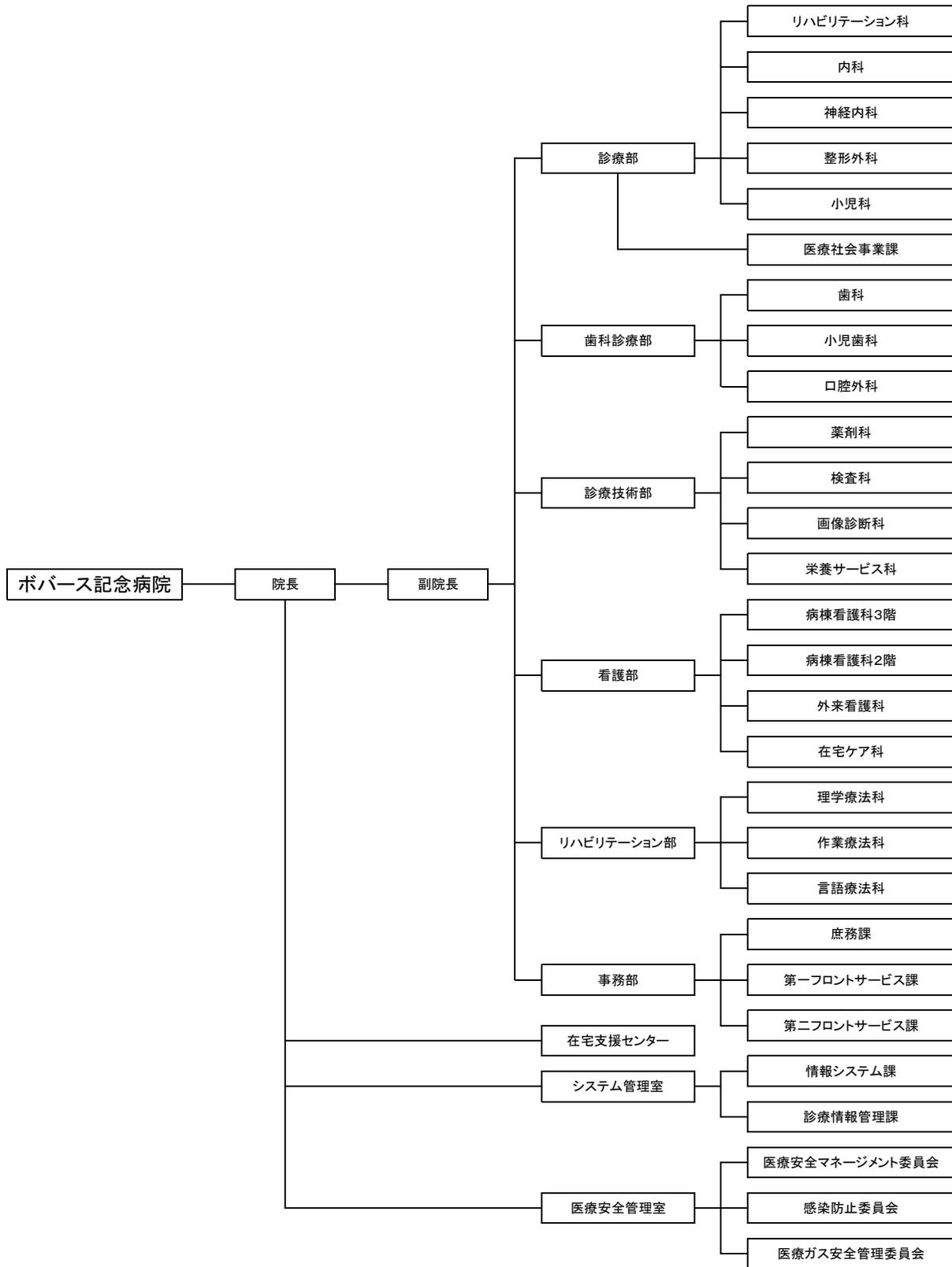
健康保険法指定  
 国民健康保険法指定  
 生活保護法指定  
 労働者災害補償保険法指定  
 労災アフターケア実施指定病院  
 障害者総合支援法指定自立支援医療機関としての指定（精神通院医療）  
 障害者総合支援法指定自立支援医療機関としての指定（更生医療・育成医療）  
 障害者総合支援法 医療型短期入所空床利用型事業所  
 結核指定医療機関指定  
 予防接種実施医療機関指定  
 被爆者一般疾病医療機関指定  
 公害医療機関指定  
 特定健診医療機関指定

## 各施設基準関係

障がい者施設等入院基本料 10対1  
 特殊疾患入院施設管理加算  
 注9 看護補助加算  
 注10 夜間看護体制加算  
 診療録管理体制加算  
 療養環境加算  
 医療安全対策加算 2  
 医療安全対策地域連携加算 2  
 感染防止対策加算 2  
 患者サポート体制充実加算  
 退院支援加算 2  
 救急搬送患者地域連携受入加算  
 病棟薬剤業務実施加算  
 データ提出加算 1  
 回復期リハビリテーション病棟入院料 1  
 体制強化加算 1  
 地域連携診療計画退院時指導料（I）  
 薬剤管理指導料  
 在宅療養支援病院  
 在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料  
 地域包括ケア入院医療管理料 1  
 看護職員配置加算  
 認知症ケア加算  
 検体検査管理加算（I）  
 全身CT撮影 16列以上のマルチスライスCT  
 外来化学療法加算 2  
 脳血管疾患等リハビリテーション（I）  
 脳血管疾患等リハビリテーション（I）初期加算  
 運動器疾患リハビリテーション（I）

運動器疾患リハビリテーション（Ⅰ）初期加算  
呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）  
集団コミュニケーション療法料  
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術  
地域歯科診療支援病院歯科初診料  
歯科外来診療環境体制加算2  
歯科診療特別対応連携加算  
歯科治療総合医療管理料  
在宅患者歯科治療総合医療管理料  
歯科口腔リハビリテーション料2  
う蝕歯無痛的窩洞形成加算  
CAD/CAM冠  
歯科技工加算  
手術時歯根面レーザー応用加算  
補綴物維持管理届出  
歯科外来診療環境体制加算  
障害者歯科医療連携加算  
口腔粘膜処置  
レーザー機器加算

(3) 社会医療法人 大道会 ボバース記念病院 組織図



各施設報告

2011年5月 改定

## 2 活動報告

### (1) 診療部

#### ①診療科

##### ア. スタッフ・診療体制

荒井 洋 院長（日本小児科学会認定専門医、日本小児神経学会認定専門医、大阪大学医学部臨床教授）

佐々木 公望 診療部長（内科、日本リハビリテーション医学会臨床認定医）

小須賀 温克 医局長（内科）

堀 信治（内科）

長谷川 善一（内科）

糸原 學（日本整形外科学会整形外科専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定脊髄脊椎病医、日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本リウマチ財団登録医、日本リハビリテーション医学会臨床認定医、麻酔科標榜医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、身体障害者福祉法指定医、義肢装具適合判定医、整形外科領域難病指定医）

保川 英一（整形外科）

非常勤医師 15名

##### イ. 診療体制・実績

###### (ア) 入院診療

###### ㊦回復期リハビリテーション病棟（51床）

回復期リハビリテーション病棟入院料Iを算定。専従医師を置き、施設基準、実績指数の算定要件において加算1の基準を満たし、脳血管疾患を主体に回復期リハビリテーションを提供した。

###### ㊧一般病棟（47床、うち地域包括ケア病棟10床）→9月から障害者病棟に変更

脳性麻痺等の小児期発症神経疾患の患者が350名（前年度比271%）入院し、その平均在院日数は13.8日であった。一般内科、整形外科患者は徐々に減少した。診療スタッフの減少に伴い、実働35床での運用とした。

地域包括ケア病棟での在宅復帰率は90%以上を達成した。

障害者病棟への変更後、対象患者の割合は70%以上を保持できた。

###### (イ) 外来診療

内科外来の一部を大道クリニックへ移行し、下半期より30年度の病院機能変更（内科を大道クリニックおよび森之宮病院に、整形外科を大道クリニックに異動）に向けて診療科の整理を進めた。12月末に泌尿器科外来を閉鎖し、内科・整形外科外来を縮小した。

小児期発症神経疾患の患者はのべ1995名（前年度比100%）であり、うち初診患者は135名（同125%）と増加、中学生・高校生の患者は856名（同102%）であった。

介護保険対象者の外来リハビリテーションは段階的に通所リハビリテーションへの移行を継続した。

###### (ウ) 在宅訪問診療

スタッフの退職に伴い、業務を縮小して維持した。

## ウ. 教育研修

医局勉強会（月3回）

## エ. 今後の展望

平成30年10月に回復期病棟を廃止し、全病棟を障害者病棟として、小児期発症の神経疾患・整形外科疾患を対象とする極めて専門性が高い病院に生まれ変わる。そのため、30年度初めより改修工事を進め、エレベーターを増築する。

法人内の人事交流、電子カルテの導入およびエビデンスに基づく先進的な医療の追求によって、高度で安全なリハビリテーション医療の提供を可能とする。

既存利用者の不利益にならないよう、法人内施設と連携して必要な医療体制を維持する。

## ②医療社会事業課（医療相談室）

### ア. 平成29年度活動報告

#### （ア）スタッフの体制

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士） 4名

課長1名・一般課員3名の4名体制（うち1名が、7月より回復期リハ病棟専従）

\* 11月より、回復期リハ病棟専従課員異動のため、3名体制となる

#### （イ）業務内容

##### ㊦ ソーシャルワーク業務

主に、脳血管疾患や脳性麻痺にてリハビリ目的で入院する患者の支援を行う。関わりは、入院相談に始まり、入院中の相談・支援、退院後当院外来に通院する方については、必要に応じて退院後の継続的な支援も行なっている。その他、患者・家族からの相談や他部署からの依頼があれば、整形外科疾患や内科疾患での入院・通院・往診患者にも関わっている。

また、患者・家族からの苦情・意見等の窓口機能を担っており、患者サポート体制充実加算を算定している（専任社会福祉士1名）。カルテ開示の依頼にも対応し、ケースにより開示請求に伴う苦情への対応も行なっている。苦情対応のスキルアップのため、課長と課員1名が医療対話推進者養成セミナーを受講し、導入・基礎編を修了。課長は、継続研修にも参加している。

（主な業務）

- ・入院相談
- ・インテーク面接および入院・入所オリエンテーション
- ・相談面接（苦情対応を含む）
- ・カンファレンスへの参加（回復期リハ病棟チームカンファレンス・退院支援カンファレンス・ミニカンファレンス）
- ・社会資源の紹介
- ・他職種・他機関との連絡調整・協議
- ・カルテ開示請求への対応

##### ㊧ 予約入院管理業務（ベッドコントロール業務）

主にリハビリ目的の脳血管疾患および整形外科疾患の予約入院患者について、待機者リストを管理し、入院受け入れの日程や病室の決定を行なう。患者の病状や心身の状況・医療依存度等を勘案し、看護部やリハビリテーション部との連携のもとで調整を行い、患者・

家族や紹介元病院へ連絡する。業務を行なうにあたり、常に病床の状況が把握できるよう、毎日更新される各病棟のベッド状況を反映した患者表を作成し、急な入院相談にも対応できる体制を作っている。病床運営会議を開催し、事務部・看護部・医療相談室より責任者が出席して情報交換を行なっている。医療相談室からは入院相談状況を報告し、患者の入院・転棟や病室の男女変換等を検討する材料を提供している。

また、脳性麻痺の患者を対象としたフィジビリ入院のスケジュール調整も医療相談室が担っている。入院予定者のリストを管理し、入院受入れの日程を決定する。介助量（主に食事介助）やST訓練の可否を勘案し、病棟看護科長やリハビリテーション部との連携のもとで、月2回の判定会議にて調整を行ない、患者・家族へ連絡する。

#### ㊦地域医療連携業務

他機関への受診予約、緊急入院が必要な患者（結核患者を含む）の受け入れ先探しなど、地域医療連携室が担う業務を、医療相談室が行なっている。

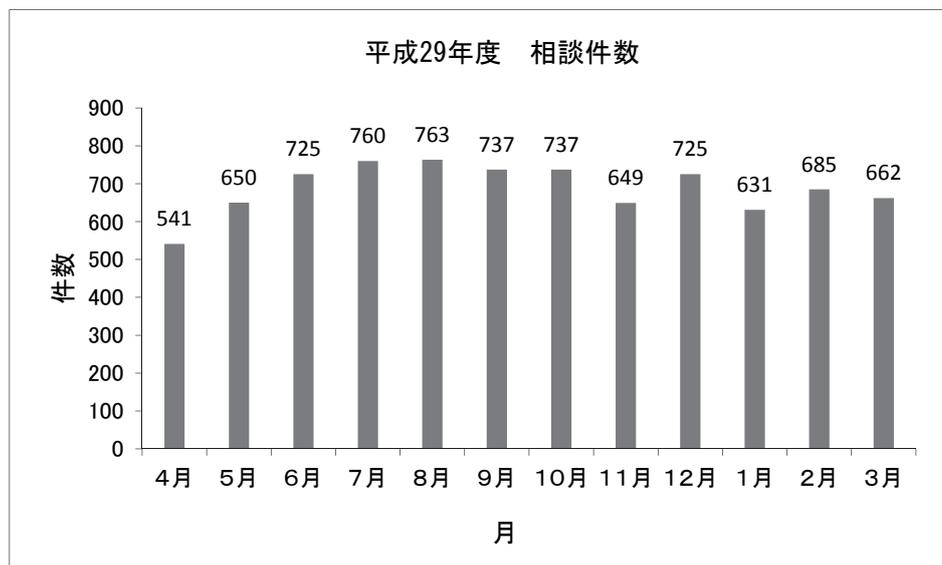
また、患者紹介依頼のための病院訪問も実施しており、今年度は回復期リハ対象患者の受け入れを目的に5病院へ、また小児期発症の障がいのある患者の受け入れを目的に診療所1件への訪問を実施した。回復期に関しては、(医師)・看護師・セラピスト・MSWによるチームでの訪問を基本としている。訪問時には、当法人で提供できるリハビリサービスの紹介を含めた回復期リハ病棟のリーフレットを持参し、退院後もフォローできる体制があることをアピールした。

#### ㊧地域福祉サービスに関する業務

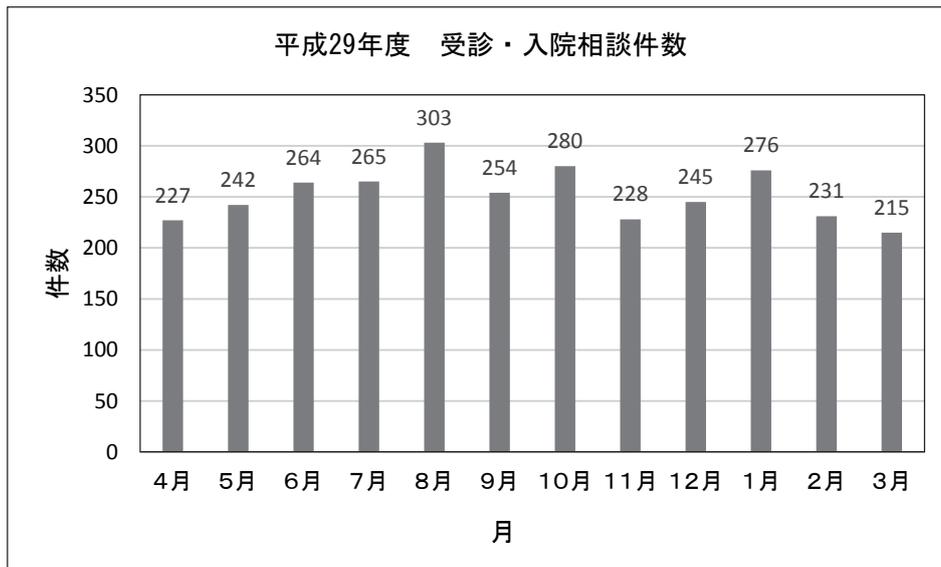
介護保険事業である通所リハビリテーションについて、運営メンバーとして関わり、実務の一部を担うとともに、新規利用者（外来通院患者の移行と回復期リハ病棟退院後のフォロー）の発掘のための情報提供を行なっている。また、障がい福祉サービスとして実施している医療型短期入所の相談窓口としても機能し、入所相談から利用登録、受診、契約に至るまで、主になって関わっている。医療型短期入所については、利用希望月の2ヶ月前より受付を開始することとし、予約管理についても医療相談室が行なっている。今年度は、病院の変革に向けた過渡期にあるため、新規の登録は一時停止し、既存の登録者のみの受け入れとした。

#### (ウ) 実績

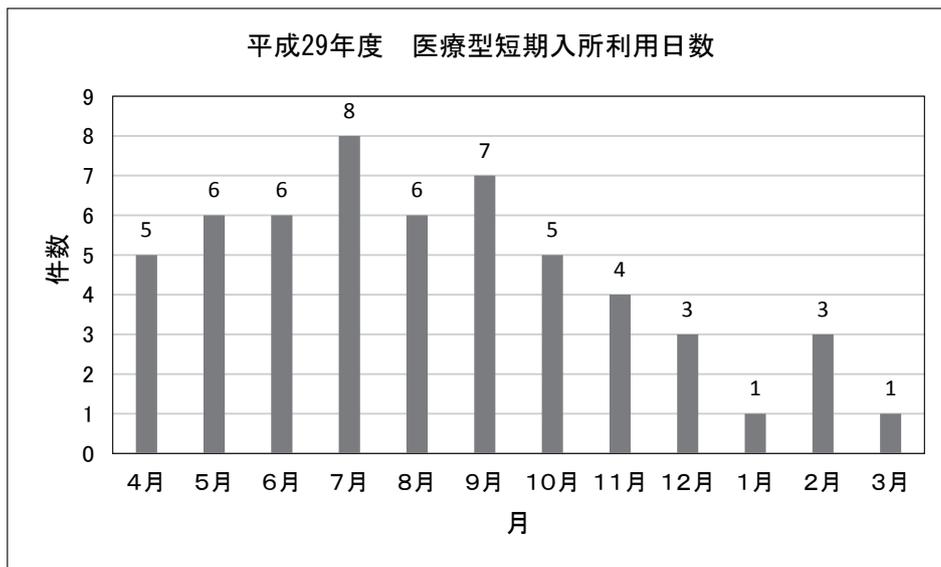
平成29年度 相談件数（延べ） 8265件



平成 29 年度 受診・入院相談件数（延べ） 3030 件



平成 29 年度 医療型短期入所利用日数（延べ） 55 件  
利用日数（延べ） 147 日



介護支援連携指導料 算定件数 14 件

大阪脳卒中医療連携ネットワーク地域連携パスによる患者受け入れ件数  
(年度内に入院した件数) 66 件

病院訪問実施数

- ・ 矢木脳神経外科病院 2 回
- ・ 市立総合医療センター 2 回
- ・ 大手前病院 2 回
- ・ 済生会野江病院 2 回
- ・ サトウ病院 2 回
- ・ 山崎診療所 2 回

＊その他、矢木脳神経外科病院には、回復期リハ病棟での受け入れが決定した患者について、入院前訪問を実施。毎週水曜日を訪問日とし、該当ケースがあれば看護師・セラピスト・MSWで訪問した。患者の状態確認と入院オリエンテーションを主目的とするが、家族面会中の場合には、インテークを兼ねた情報収集も行なった。

#### (エ) 特徴

比較的病床数の少ないアットホームな環境の中、院内スタッフとは顔の見える連携を心がけ、できるだけ各部署へ出向いての相談・対応を行なっている。また、役職を超えていつでも気軽に相談できる雰囲気を大事にしており、その甲斐あってか他部署の職員の来訪も多い。患者・家族に対しては、入院を機に、退院後も継続して関わられる体制ができていたため、1つのケースと長年付き合うことも少なくない。

昨年度より、脳性麻痺の患者を対象としたフィジビリ入院が本格的に稼働し始めたが、障がい分野での実務経験者が入職し、制度面については新入職者の知識と経験が役に立った。新体制に向けては、障がい分野についてさらに学習し、知識を深めていく。

ソーシャルワーク業務以外の業務も担っているため、専門分野以外の知識や技量を要する場面も多い。

#### (オ) 教育研修体制

関西学院大学より医療ソーシャルワーカーを志望する4回生の学生を通年で受け入れているが、本年度は該当者がなく、実習指導は行なわなかった。

課内では、実習生や新入職員（異動者を含む）の教育・指導が円滑に行なえるよう、医療相談室業務マニュアルを随時見直し、改訂している。制度改正等の時期には、課内で勉強会を行ない、知識を共有するよう努めている。

他部署に対しては、看護部およびリハビリテーション部において、毎年自部署の業務や社会資源についての講義を行なっている。また、適宜、院内勉強会においても講義の場を設けていただいている。

### イ. 次年度への課題・目標

次年度は、いよいよ病院変革の年となる。脳性麻痺など小児期発症の障がいのある患者が増える中、障がい分野についての制度やサービスを知り、新体制に向けた準備を行なう必要がある。回復期リハ病棟が閉鎖する7月末以降、こうした作業を進めながら、中学生以上の障がいのある新規患者開拓のため、広報活動を開始したい。

また、回復期リハ病棟閉鎖までの期間、改修工事による稼働病床数の減少に伴い、経営の安定を図るため、引き続き近隣の急性期病院との連携を密にする。改修工事をしながらの病棟運営となるため、療養環境の悪い中、限られた期間での受け入れとなるが、そのような状況でも入院を希望していただける方については、可能な限り受け入れるよう努めたい。

## (2) 歯科診療部

### ア. スタッフ・診療体制

#### (ア) 常勤歯科医師

大道士郎 歯科診療部部長（日本小児歯科学会指導医、日本障害者歯科学会指導医、日本老年歯科医学会専門医、日本老年歯科医学会専門医制度指導医、日本有病者歯科医療学会指導医、日本小児口腔外科学会指導医）

青野 陽 歯科診療部医長（日本有病者歯科医療学会専門医、日本障害者歯科学会認定医）  
出来以久子

#### (イ) 非常勤歯科医師

旭 吉直 医局長（日本歯科麻酔学会専門医、日本障害者歯科学会指導医、日本老年歯科医学会専門医、日本老年歯科医学会専門医制度指導医、日本有病者歯科医療学会指導医、日本蘇生学会指導医）

中村征一郎 インプラント専門歯科医師

猪飼祥子（日本口腔外科学会認定医）

#### (ウ) スタッフ

歯科衛生士 5 名。歯科技工士 2 名。歯科受付助手 4 名。

### イ. 診療内容

#### (ア) 概要

一般歯科治療はもちろん、障害者歯科、小児歯科、有病者歯科、口腔外科など様々な分野の歯科治療に対応しており、治療の対象としているのは、地域の外来受診者、入院患者、老人保健施設入所者、在宅患者などである。周囲の歯科医院や他の病院からも全身疾患をもった患者や障害を持った患者が紹介され治療を行っている。幾つかの学会から研修施設認定を受けており、各学会認定の指導医、専門医、認定医、指導歯科衛生士などが治療を担当している。

#### (イ) 訪問歯科診療

外来受診が困難な患者に対して往診により口腔ケアや義歯の調整を行っている。訪問歯科診療の主な対象は、介護老人保健施設グリーンライフの入所者および当法人が管理している在宅療養中の高齢者で、グリーンライフ入所中の患者に対しては、送迎での歯科診療を開始し、より幅広い歯科疾患に対応可能となった。これらにより要介護高齢者の口腔機能の維持改善にも貢献している。

#### (ウ) 全身麻酔下歯科治療

種々の障害や疾患のために通常の歯科治療を行う事が困難な患者も多い。当診療部では、知的障害、自閉症、脳性麻痺などの疾患、障害などのために通常の歯科治療が非常に困難な場合は、日本歯科麻酔学会専門医が麻酔を担当して治療担当医が全身麻酔下に歯科治療を実施している。

### ウ. 治療実績

患者総数は 12,892 名であった。また入院総数は 99 件で、全身麻酔下歯科治療症例は 110 件であった（表 1）。

### エ. 教育研修

研究活動にも力を入れており、日本老年歯科医学会、日本小児診療多職種研究会、日本小児歯科学会近畿地方会、日本歯科麻酔学会、日本障害者歯科学会、日本有病者歯科医療学会など

に参加し、合計9演題を発表した。教育活動としては、3校の歯科衛生士専門学校から学生を受け入れて実習を行なっている。

#### オ. 今後の展望

来年度は病棟の編成も行われ、歯科診療部においても脳血管障害の患者が減少する一方、脳性麻痺の患者が増加すると思われる。障害者歯科、小児歯科、有病者歯科、口腔外科を中心として入院患者のみならず、地域の歯科医療にさらに貢献していきたい。そのために引き続き学会活動や教育活動にも力を入れて行く。

表1 平成29年度診療実績

	症例数(人)
外来延べ受診者数	12,892
1日平均患者数	48
在宅延べ患者数(月平均数)	206(17.2)
入院症例数	99
全身麻酔下歯科治療症例数	110

### (3) 看護部

看護部長 田中 裕子

#### ア. 平成 29 年度の目標

- (ア) 経営への参画
- (イ) 看護の質向上
- (ウ) 働きやすい職場づくり

#### イ. 内容と成果

##### (ア) 経営への参画

- ㊦ 9月から3階一般病棟10対1から障がい者病棟へ変更（うち10床を地域包括ケア病床）し、稼働目標・施設基準のすべてを達成することができた。また、病棟に夜間を含めて看護補助を適切に配置していたことで、H30年度診療報酬改定で、新設される「看護補助加算」の取得に向け準備ができた。
- ㊧ 2階回復期リハ病棟は、稼働目標をやや下回ったが、施設基準のすべてを達成することができた。また、実績指数37以上をたたき出すことができたことは、チームアプローチの成果である。H30年度診療報酬改定で回りハ施設基準1の取得に向けて準備ができた。
- ㊨ 外来部門は法人再編に向けて、診療科の閉科に伴う患者移行を法人内・外へ繋げることができた。在宅ケア科は法人内在宅事業部へ移管し、訪問診療を縮小し継続することになった。

##### (イ) 看護の質向上

- ㊦ 看護研究に取り組み院内・院外発表に繋げることができた。外来・2階病棟・3階病棟、そして今回は初めて介護福祉士も院外発表を行った。  
第67回日本病院学会 2演題 第19回大阪病院学会 4演題発表
- ㊧ 教育委員会主催のラダー研修の継続ができた。
- ㊨ H31年度看護学生実習受け入れに向けて、大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会（大阪市委託事業）に1名受講終了。
- ㊩ インシデント件数は昨年より約10%減少し、大きなクレームも無かった。

##### (ウ) 働きやすい職場づくり

- ㊦ 離職率は18.2%と昨年より6.3%上昇となった結果ではあるが、人員配置の適正化に向けて取り組んだ結果である。
- ㊧ 残業時間は看護師1人あたり2.3時間（月平均）0.9時間削減。有給取得率77%
- ㊨ 法人再編に伴う職員の不安・適正配置に向けて個人面談の実施と継続中である。

#### ウ. H30 年度目標

##### (ア) 法人再編計画の推進

工事対応しながら安全で効率的な病床・外来運用。3階病棟再編と稼働目標達成。  
10月再編に伴う適正人員配置。2階回復期リハ病棟辞退と患者移行。障がい者病棟稼働。  
看護補助加算の獲得と効率的なベッドコントロール。障がい者施設基準の維持。  
手術室稼働に向けた人材育成の実施。

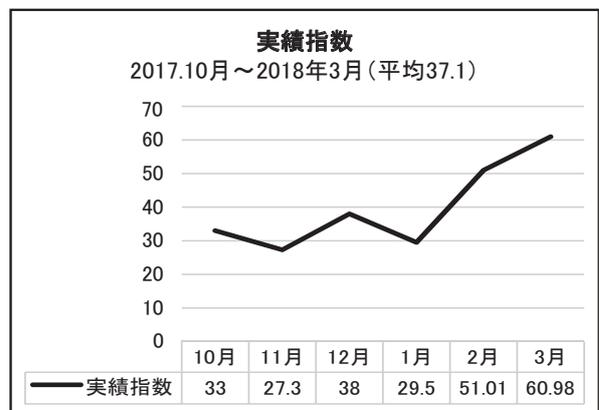
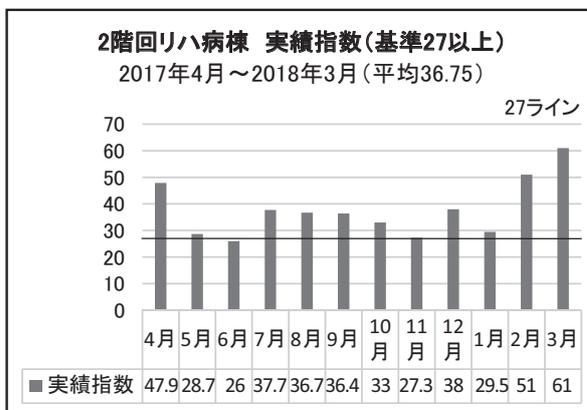
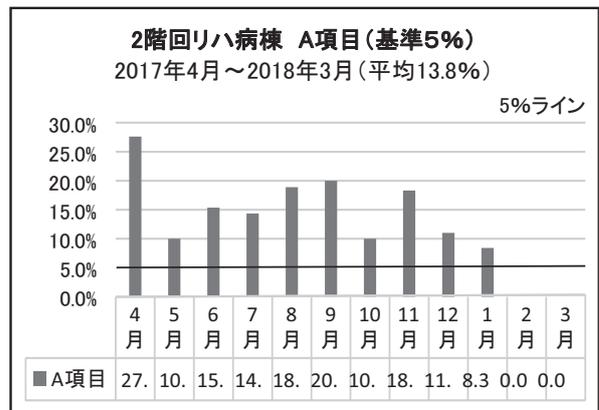
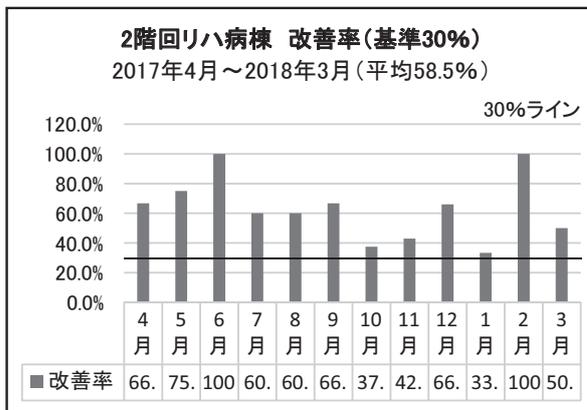
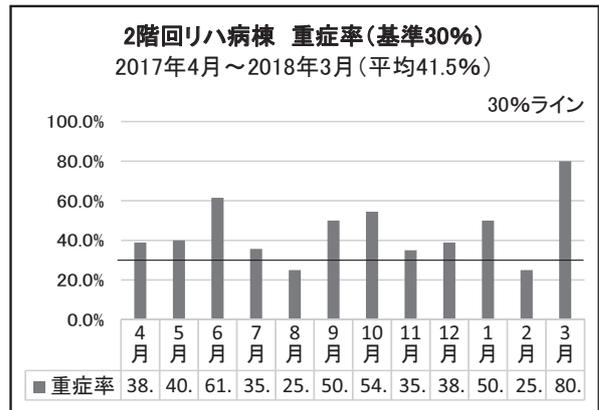
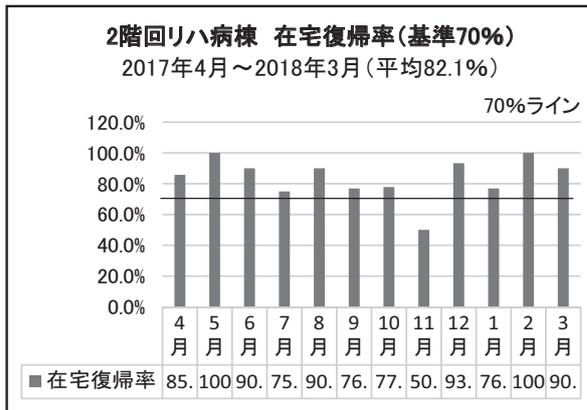
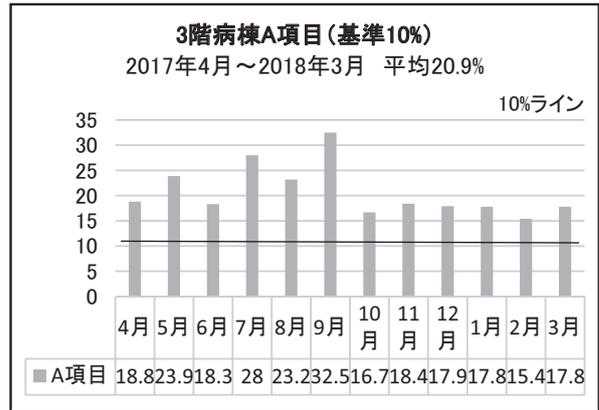
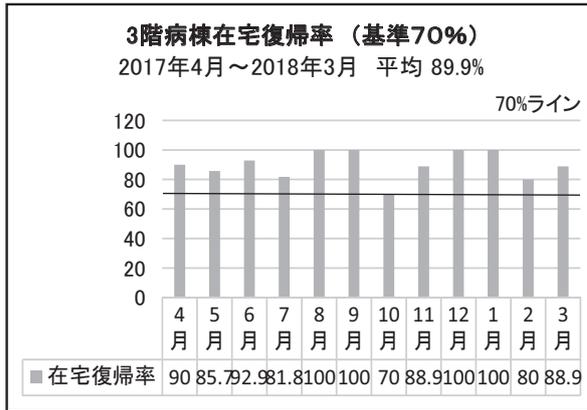
##### (イ) 看護の質向上

法人看護部としての教育体制の確立・強化

##### (ウ) WLBの推進

WLBについて考え働き続けられるための再構築

①入院施設基準のための主要データ



各施設報告

## ①外来

## ア. 平成 29 年度の目標

- (ア) 外来機能の役割を通し、看護業務の効率的運用をする。
- (イ) 人材育成・働きやすい環境づくりにおいて、業務効率や役割分担における人員配置の考慮や後輩育成の定期的評価をする。
- (ウ) 外来看護の質の向上を図り、看護研究を通して気づきや課題を解決し実践する。

## イ. 成果

- (ア) 患者移行に関する対応について、関連部門との情報共有と連携を行った。CP 電話予約は、情報フォーマットの修正により情報把握が容易となった。SPD は、外来看護部から杏林に業務を移管した。患者移行については、担当医の説明や資料を配布し、担当看護師の固定化を行うことで業務処理や対応がスムーズにできた。
- (イ) 診療科の受診者数から人員配置や業務効率化を図った。中途入職者 2 名は、支援ナースが指導を行ったが 1 名は退職、1 名は専門性を高めたいとの希望にて法人内異動となった。
- (ウ) 勉強会は外来の業務に則したものの、CP 関連のテーマとした。(表 1)  
第 19 回大阪病院学会 (平成 29 年 11 月 12 日) 発表：優秀賞として表彰された。  
テーマ：外来看護師の施設内連携における役割  
～障がい児の母親への吸引指導を通して～

表 1

月	テーマ	月	テーマ
4 月	通所リハビリの場所変更に伴う看護師の役割と対応について	10 月	てんかんの看護
5 月	脳性マヒ～てんかんと痙性の治療	11 月	乳児型脊髄性筋萎縮症 (SMA) 治療薬について
6 月	小児特定疾患について	12 月	自閉症について
7 月	脳性麻痺と装具について	1 月	脳室周囲白質軟化症について
8 月	急変時の対応 ～脳性麻痺の看護～	2 月	脳性麻痺の原因について
9 月	特別支援学校とは	3 月	脳性麻痺乳児期の特徴について

## ウ. 平成 30 年度の目標

- (ア) 法人再編計画の推進
- (イ) 新外来に向けた業務整理
- (ウ) 電子カルテ導入準備

## ②在宅ケア科

## ア. 平成 29 年度の目標

- (ア) 緊急対応体制を整え、緊急往診 37 件、看取り 3 件であった。在宅療養支援病院の施設基準は未達成であった。患者・ご家族の自宅での看取りの意向が、心身の状態の変化等に依りて変化し病院での死亡となった事例もあった。
- (イ) 定例勉強会の実施や KYT にて看護ケアについて振り返り、患者の在宅療養に関する支援

について看護師間で協議した。また、看護雑誌によりがんターミナル看護について患者・家族や医療者との関係制について情報を得、がん拠点病院のセミナーに参加し知識を深めた。自宅での看取りにおいては感謝の言葉をいただいた。

(ウ) 定年及び自己都合による退職者3名があり、外来看護部より応援体制にて1名の協力にて業務を継続できた。

## イ. 成果

(ア) 夜間・休日にも緊急対応体制を整え、緊急往診36件、看取り4件達成。

(イ) 在宅ケア科へ異動看護師2名あり、OJTにて指導。カンファレンスの回数を1～2回/週確保し、情報共有、看護の均一化に努めた。

(ウ) がん終末期患者3～5名/月の訪問診療・看護を実施した。うち、自宅での看取り3件に繋げることができ、ご家族から満足の言葉をいただいた。また、がん拠点病院にて開催されるセミナー等に積極的に参加し最新知識を深めることが出来た。

表1 平成29年度の在宅ケア科の新規受け入れと中止状況について

新規内訳		中止内訳	
ボバース記念病院	1	死亡（病院にて）	4
森之宮病院	5	（自宅にて）	3
大道クリニック	0	転出（施設入所含む）	3
グリーンライフ	1	外来通院へ変更	1
他施設	2	他施設に紹介	25
		その他（転居）	1
合計	9		37

表2 訪問診療・往診、訪問看護件数

年 月	新規	中止	訪問診療・往診（緊急往診）	訪問看護（緊急訪問）
平成29年4月	1	4	59（5）	139（4）
5月	1	0	54（5）	157（15）
6月	1	0	66（5）	169（6）
7月	3	2	52（2）	182（3）
8月	0	0	56（3）	211（6）
9月	0	3	66（5）	107（3）
10月	0	2	41（3）	67（0）
11月	0	0	36（1）	54（0）
12月	0	1	40（3）	52（1）
平成30年1月	0	1	32（2）	52（1）
2月	0	7	34（2）	49（1）
3月	0	17	23（1）	11（1）
合計	6	37	559（37）	1250（41）

(エ) その他

平成30年3月で在宅ケア科の訪問看護は終了、患者移行は近隣の施設や法人内在宅事業部へ移管。

往診診療3件は継続している。

### ③ 2階病棟

#### ア. 平成 29 年度病棟目標

- (ア) 施設基準を維持する
- (イ) 地域包括ケアシステムの構築作りに努める
- (ウ) 患者、家族の視点に立った質の高い看護を提供する
- (エ) 5S 活動を積極的に行う

#### イ. 成果

施設基準 1 維持 (6 ヶ月平均)

施設基準指標 / 年	上半期平均	下半期平均	年間平均
在宅復帰率 70%以上	86%	79%	82%
重症患者改善率 30%以上	71%	46%	57%
新規入院患者重症率 30%以上	40%	44%	41%
新規入院患者看護必要度 A 項目 5%以上	17%	8%	13%

(ア) 他職種とのチームアプローチにより施設基準 1 を維持することができた

7 月より、病棟専従医が 1 名となり、体制強化加算 2 → 1 へ変更  
実績指数は基準 27 の維持ができた (実績指数：年間平均 37.8)

(イ) 安心して住み慣れた地域に戻れるよう、他職種との連携

入院時訪問指導 12 回 / 年間実施。在宅復帰率の維持ができた  
退院後に当院の通所リハビリテーションへの移行が円滑に行うよう院内で連携  
14 名が通所へ移行に繋げる事ができた

(ウ) 患者・ご家族の視点に立った質の高い看護の提供

院内症例検討 ラダー II 対象者で 3 題発表  
他職種と連携し、日本病院学会にて 1 題発表

#### ウ. 今後の課題

法人再編計画の推進。他部門との連携を持ち、お互いの協力体制を作る  
組織を大切にし、病院経営に関心を持ち、経費削減に努める  
安全対策に最善を尽くし、事故防止に努める

#### エ. 平成 30 年度病棟目標

- (ア) 法人再編計画の推進
- (イ) 看護の質向上

### ④ 3階病棟

科長 長井 治江

#### ア. 平成 29 年度の目標

- (ア) 病効率的な病床運営
- (イ) 看護の質向上

## イ. 成果

### (ア) ①障がい者病棟へのスムーズな移行

平成 29 年 8 月に障がい者病棟の実績作りを行い、9 月に障がい者病棟へスムーズな移行を行うことができた。

### ② 35 床での効果的なベッドコントロール

障がい者病床 25 床、地域包括病床 10 床にて運営を行い、平均患者数を 35 床に保っていた。

年間平均患者数：34.3 人（うち、地域包括病床年間平均患者数 9.2 人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
36 人	36 人	33 人	31 人	34 人	36 人
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
34 人	37 人	33 人	31 人	39 人	32 人

### (イ) ①カンファレンス

毎週木曜日カンファレンスデイを設け、患者カンファレンスを行っていった。結果、CP 患者の情報共有の必要性について皆で周知することができ、クレームが激減した。

### ②勉強会

CP についての理解を深めるために、小児科北井 Dr に月 1 回講義を受けた。

## ウ. 看護学術大会参加

大阪病院学会 病棟看護師として考える他職種・地域との連携

～病棟独自の退院支援シートを作成・使用して～

3 階病棟 発表者：千崎 星嘉

共同研究者：水野 懸 益田 理江

## エ. 平成 30 年度の目標

### (ア) 効率的な病床運営

平均患者数 30 床の確保

障害者病棟 7：3 の維持

### (イ) 看護の質向上

カンファレンスの充実をはかり、円滑な対応を行っていく。

入浴週 2 回 → 3 回

## (4) リハビリテーション部

### ア. 平成 29 年度活動報告

#### (ア) スタッフの体制

リハ部人数 PT 38 名 OT 23 名 ST 8 名 POST (事務) 3 名

#### (イ) 業務内容

入院は、2 階回復期病棟、3 階は、4 月～8 月一般病棟、9 月～3 月は障がい者病棟、地域包括病床の患者すべてを対象としていた。医療保険の外来リハビリテーションは、中学生以上の脳性まひ児・者が多く、維持期の脳血管疾患、整形疾患も対象としていた。介護保険では、通所リハとみなし訪問リハを行っている。通所リハは、病院内の各部署

と連携し、回復期病棟から通所リハへの移行を徐々に行っている。訪問リハは当院在宅ケア科と連携して、または在宅事業部へ出向して在宅でのリハビリテーションを実施している。リハビリテーションのスタッフは、入院、外来、通所リハ、訪問リハと幅広い分野で活躍している。

#### (ウ) 特徴

統一した概念によるリハビリテーションを提供

当院では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士すべてのスタッフがボバース概念を治療の基本として、対象者一人一人に合わせた機能目標を設定し、心身の機能回復、日常生活活動の向上や家庭や学校・職場の環境設定や復帰への援助を行っている。ボバース概念とは、イギリスの医師である故カレル・ボバース博士と理学療法士のベルタ・ボバース夫人により開発された治療概念である。脳や脊髄といった中枢神経系の可塑性を活用し、中枢神経疾患をもつ方々の機能改善を目指す治療である。この概念は、小児から成人、病院から在宅まで幅広い分野の対象者に対して対応が可能である。

#### (エ) 特色

地域との連携

地域住民が住み慣れた地域での暮らしを継続できるように地域包括ケアシステムをもとにして法人内・外の連携に協力している。当院は、医療保険のみならず、介護保険も導入し、ケアマネージャーなど地域との連携を強化も図る。

中学生から高齢者までのCP児者への入院・外来治療

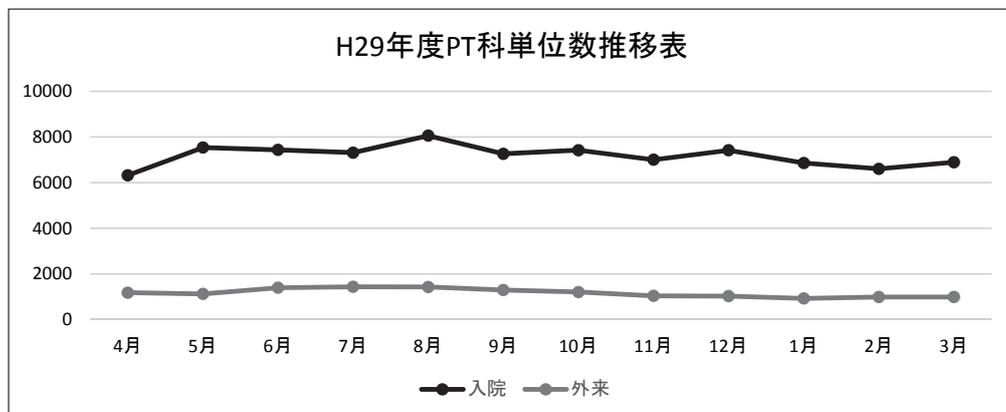
中学生以上のCP者の短期入院や外来リハも増え、心身の機能回復や日常生活活動の向上だけでなく、学校や職場や地域での生活を円滑に行うための介助方法や福祉機器導入など検討していく。また、障害者病棟に入院される他の疾患への対応も検討していく。

### イ. 次年度（平成30年度）への課題・目標

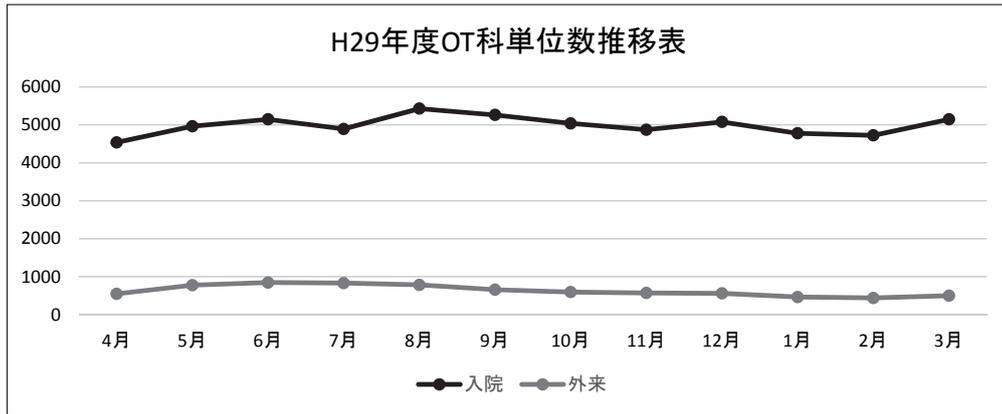
平成30年度の診療報酬改定に向けて、書類の変更や対策を検討する。

法人の再編に向けて病院改修や人員配置、教育など検討しなければならない課題は大きい。脳性麻痺プロジェクトが始動してから、小児領域の評価の整備、カンファレンスのシステム構築、脳性麻痺を担当できる若手スタッフの育成などを行ってきた。今後、人員配置や病院の移行を円滑に行うための課題解決に向けて、ワーキンググループを立ち上げ、すべてのスタッフが積極的にかかわり、新病院の体制を作り上げていくことが目標である。

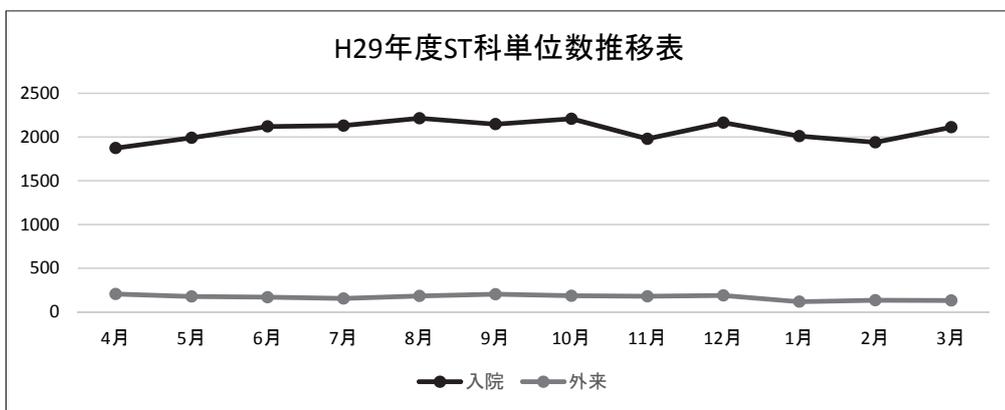
#### (ア) 実績



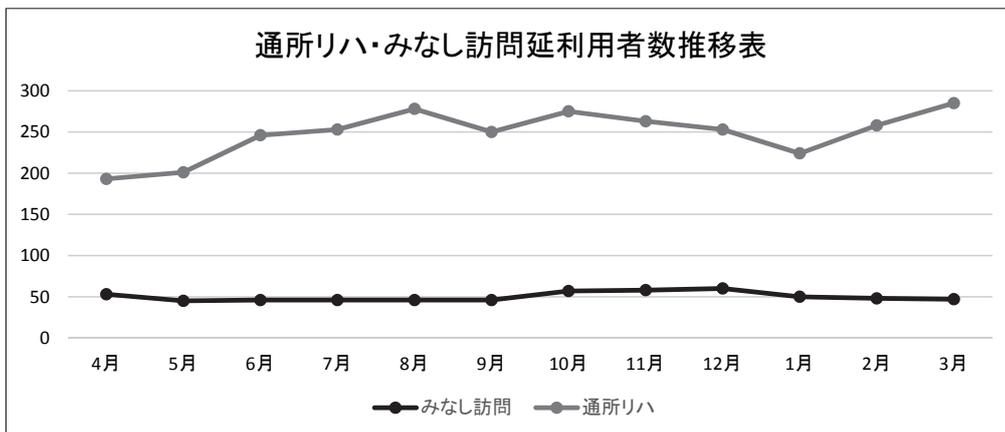
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	6321	7536	7434	7312	8057	7260	7419	7003	7416	6858	6605	6892
外来	1179	1123	1397	1435	1428	1294	1207	1039	1028	927	989	989



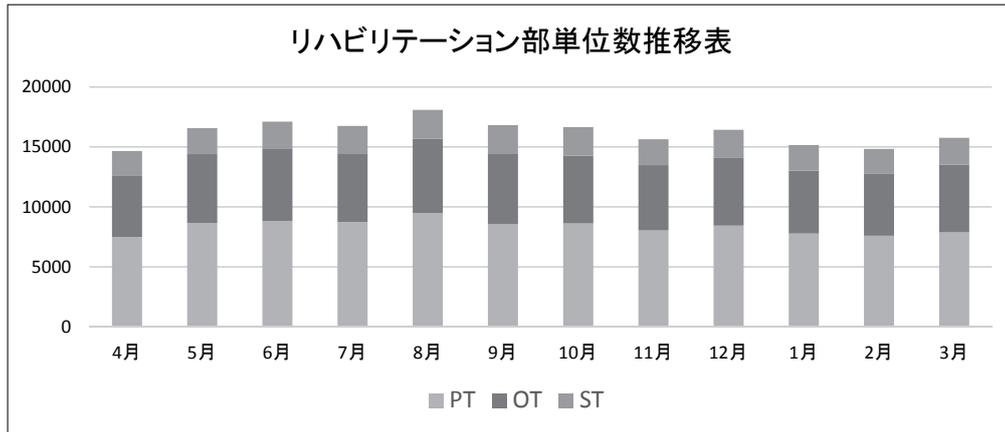
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	4536	4962	5144	4891	5427	5261	5038	4871	5076	4776	4723	5144
外来	548	776	844	830	783	656	594	569	560	462	438	498



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	1873	1991	2120	2130	2214	2147	2208	1979	2164	2010	1939	2111
外来	205	177	169	154	183	203	185	179	189	118	134	131



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みなし訪問	53	45	46	46	46	46	57	58	60	50	48	47
通所リハ	193	201	246	253	278	250	275	263	253	224	258	285



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PT	7500	8659	8831	8747	9485	8554	8626	8042	8444	7785	7594	7881
OT	5084	5738	5988	5721	6210	5917	5632	5440	5636	5238	5161	5642
ST	2078	2168	2289	2284	2397	2350	2393	2158	2353	2128	2073	2242

## (イ) 教育研修体制

2017年度	再教育	
	項目・内容	担当者
4月6日	係りの仕事引き継ぎ	
4月13日	基本ハンドリング	鈴木部長
4月20日	C P 講習会報告	木滑科員
4月27日	C P 講習会報告	木滑科員
5月11日	C P ①	永島教育主幹
5月18日	C P ②	永島教育主幹
5月25日	書類作成	
6月1日	C P ③	永島教育主幹
6月8日	F I M	藤田主任、末宗主任
6月15日	C P ④	永島教育主幹
6月22日	各科別①	各科
6月29日	社会資源について	MSW 岸 課長
7月6日		
7月13日	C P ⑤	永島教育主幹
7月20日	リスク管理	看護部 宮里主任・辻主任
7月27日	書類作成	
8月3日	C P ⑥	永島教育主幹
8月10日	通所・訪問について	坂本主任 加来主任 小野主任
8月17日	C P の手術について	整形外科 柴田副院長
8月24日	C P ⑧	永島教育主幹
8月31日	書類作成	
9月7日	各科別②	各科
9月14日	C P ⑨	永島教育主幹
9月21日	C P ⑩	永島教育主幹
9月28日	C P ⑪	永島教育主幹

2017年度	再教育	
	項目・内容	担当者
10月5日	各科別③	各科
10月12日	椎名S Tデモンストレーション	椎名部長
10月19日	CP⑫	永島教育主幹
10月26日	感染防止	看護部 主任
11月2日	CP⑬	永島教育主幹
11月8日	久保田先生講義	久保田先生
11月16日	上級講習会報告	町田科員
11月30日	書類作成	
12月7日	CP⑭	永島教育主幹
12月14日	CP⑮	永島教育主幹
12月21日	各科別④	各科
12月28日	各科別⑤	各科
1月4日	書類作成	
1月11日	上級講習会報告	鈴木部長、山本科員
1月18日	上級講習会報告	鈴木部長、山本科員
1月25日	京大セミナー報告	柴科員、山城科員、宮本科員
2月1日	運動器系体表解剖セミナー報告	石田科員
2月8日	症例報告会	
2月15日	研修出張報告	
2月22日	書類作成	
3月1日	CP⑯	永島教育主幹
3月8日	CP⑰	永島教育主幹
3月15日	各科別⑥	各科
3月22日	年度末準備	
3月29日	年度末係の仕事引継ぎ	

## (5) 診療技術部

### ①薬剤科

#### ア. 活動報告

##### (ア) スタッフの体制

常勤薬剤師 5 名      認定実務実習指導薬剤師 1 名

##### (イ) 業務内容

###### ㊦調剤業務

主に入院患者を対象とし、薬の有効性、安全性を確保して適正な使用を推進するべく医師の処方せんに基づく薬剤の調整をおこなっている。

###### ㊧病棟薬剤業務

一部病棟に担当薬剤師が常駐し、病棟における処方提案、医薬品の管理、薬歴管理等によりチーム医療を通して入院患者の薬物治療が効率良く安全に行われるよう薬学的な観点からの充実したサポートを行うなどしている。

###### ㊨薬剤管理指導業務

服薬指導など直接的な関わりを通して、薬剤情報の提供（薬効・用法用量、使用方法の説明、副作用等）及び精神面の支持（患者の不安等の傾聴・共感等）により、入院生活あるいは退院後の薬物療法にかかるQOL（患者の生活上の人としての満足感）の向上に貢献する。また、服薬指導を通じて薬物療法にかかる患者のアドヒアランス（患者が積極的に治療方針の決定に参加し、これに従って治療を受けること）の向上を目指す。

###### ㊩D I（医薬品情報管理）業務

医薬品情報を迅速かつ正確に収集、管理し、医療従事者ならびに患者への情報提供を通じ、良質かつ適正な薬物療法の発展をはかり、医療の向上と効率化に寄与している。

###### ㊪医薬品管理業務

医薬品の購入（発注、納品、検品）、在庫管理（適正在庫、先入れ先出し、品質管理、棚卸し）、供給管理（各部署への定数配置）等を行い、滞りない医薬品の払い出し、適正在庫によるコスト削減や品質保持、薬品の定数化によるトータルの薬品管理に努めている。

###### ㊫各種マニュアルの整備

安心・安全な業務を行うために科内調剤・服薬指導マニュアル、医薬品安全使用のための業務手順書、抗菌薬適正使用マニュアル、院内医薬品集等を作成している。

###### ㊬薬薬連携

近隣調剤薬局との定期的な連絡会を開催し、平成 29 年度は計 9 回の実施に至る。

###### ㊭各種委員活動

医薬品審議・医療安全・感染防止・栄養・療養担当規則対策・診療情報管理・患者サービス等の各種委員会に参加し、病院機能の向上に努めている。

###### ㊮薬学生の長期実務実習の受け入れ

薬学生の長期実務実習（11 週間）の受け入れをおこなっている。

## (ウ) 業務実績

## ㊦処方箋枚数及び剤数

	外来処方箋		入院処方箋	入院注射箋
	枚数 (院外)	枚数 (院内)	枚数	枚数
4月	1756	1	592	178
5月	1801	1	579	221
6月	1816	3	568	110
7月	1632	0	470	135
8月	1687	2	592	141
9月	1605	3	595	114
10月	1571	1	505	123
11月	1545	1	532	143
12月	1564	5	536	114
H30.1月	1326	2	488	115
2月	1274	7	545	154
3月	1155	3	444	122

## ㊧薬剤管理指導件数

	指導実件数	算定件数		麻薬加算 件数 (50点)	退院指導 実件数	退院時指導 算定件数 (90点)
		(380点)	(325点)			
4月	243	35	72	0	41	17
5月	259	39	72	0	55	34
6月	247	37	80	0	53	29
7月	231	21	61	0	45	21
8月	231	27	76	0	44	23
9月	217	19	83	0	30	18
10月	223	34	77	0	50	25
11月	211	24	81	0	41	20
12月	204	35	72	0	50	20
H30.1月	183	30	75	0	26	10
2月	190	27	79	0	26	19
3月	107	17	53	0	42	21

## ㊨病棟薬剤業務実施加算算定件数

	算定件数	算定可能 病床数
4月	138	37
5月	154	37
6月	140	37
7月	131	37
8月	168	37
9月	—	—
10月	—	—
11月	—	—
12月	—	—
H30.1月	—	—
2月	—	—
3月	—	—

- ㊥薬学実習生実務実習受け入れ（森之宮病院と相互入れ替え実施）
  - 第2期（9/4～11/19）1名 武庫川女子大学（協力施設として）
  - 第3期（1/9～3/26）1名 大阪薬科大学（協力施設として）

## イ. 教育研修

- (ア) 科内勉強会の開催：月2回実施 計24回
- (イ) 院外講習会への参加：近畿厚生局、大阪府保険医協会、大阪府病院薬剤師会、製薬会社主催講演会などへの参加
- (ウ) DIカンファレンス：月2回実施 計10回

## ウ. 今後の展望

- (ア) 薬剤管理指導業務の充実
- (イ) 病棟薬剤業務における多職種連携
- (ウ) 薬品在庫・発注管理の徹底
- (エ) DI業務の充実
- (オ) 各種講習会への参加
- (カ) 各種マニュアル等の改訂・作成

## ②検査科

### ア. 活動報告

- (ア) スタッフの体制
  - ㊦常勤臨床検査技師1名、非常勤臨床検査技師2名
- (イ) 保有資格
  - ㊦臨床検査技師3名
- (ウ) 業務内容
 

ボバース記念病院、大道クリニック、介護老人施設グリーンライフの検体で以下の検査をボバース記念病院検査室で実施している。

  - ㊦検体検査
    - ア. 生化学検査（生化学Ⅰ・Ⅱ・薬物濃度）
    - イ. 血液学検査
    - ウ. 免疫学検査（感染症・腫瘍マーカー）
    - エ. 凝固検査
    - オ. 尿検査
    - カ. 便検査
    - キ. 迅速検査（インフルエンザなど）
  - ㊦外来採血業務（平成27年12月から中止）
- (エ) その他
  - ㊦各種委員会の参加
    - 臨床検査適正化委員会
    - ※また法人衛生委員会、感染防止委員会からの職員健診・入職時ウイルスワクチン接種計画、院内感染状況の把握などを主導している。

## (オ) 業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	TOTAL
生化学Ⅰ	335	355	376	297	301	257	308	255	244	230	203	245	3406
生化学Ⅱ	67	59	69	67	61	63	78	61	54	47	32	40	698
血液学的検査	395	416	432	359	355	320	373	320	301	342	267	296	4176
免疫学的検査	290	297	320	248	236	214	254	223	207	302	222	217	3030
尿・糞便等検査	257	251	287	243	247	218	244	221	213	103	78	72	2434

## (カ) 教育・研修

- ㊦検査科内勉強会（不定期に実施）
- ㊧各試薬メーカー開催の勉強会
- ㊨大阪臨床検査技師学会主催の勉強会

## (キ) 今後の展望

- ㊩チーム医療への参加
- ㊪検査依頼件数確保へのPR
- ㊫森之宮病院検査室との連携

## ③画像診断科

## ア. 平成29年度活動報告

## (ア) スタッフの体制

- ㊬常勤診療放射線技師3名
  - ・取得資格 ア. 放射線管理士(1名)
- ㊭常勤臨床検査技師2名 パート1名
  - ・取得資格 ア. 超音波検査士(腹部領域3名)

## イ. 業務内容

ボバース記念病院、及び大道クリニックにて以下の放射線検査、生理機能検査業務を実施している。

- (ア) 一般撮影
- (イ) X線テレビ検査
- (ウ) CT検査
- (エ) 骨密度検査
- (オ) 超音波検査（消化器・循環器・体表・頸動脈）
- (カ) 心電図・負荷心電図（マスター）・ホルター型心電図
- (キ) 脳波・肺機能・血圧脈波検査
- (ク) 眼底カメラ撮影・眼圧測定・終夜睡眠ポリグラフィー（携帯）

## ウ. その他

- (ア) 各種委員会への参加（運営会議、医療安全、院内勉強会、院内レクリエーション）

## エ. 特徴

- (ア) 法人内（主に3施設）にて約半年～1年の期間で主には技術取得のため、異動・ローテーションを行っている。このことにより、突然の人員不足にも対応可能となる。

## オ. 教育・研修

- 1 院内： 法人内生理検査勉強会（月1回）
- 2 院外： 超音波医学会学術集会（地方会）参加  
超音波検査学会学術集会（地方会）参加  
大阪腹部超音波研究会参加  
大阪超音波研究会参加  
南大阪超音波研究会（月1回）参加  
PSG研究会参加

## カ. 実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	外来	209	170	206	178	156	147	114	142	126	159	116	122
	入院	96	86	81	94	129	75	107	71	77	95	73	84
	合計	305	256	287	272	285	222	221	213	203	254	189	206
胃透視	外来	0	1	1	2	1	1	1	1	2	3	1	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	1	1	2	1	1	1	1	2	3	1	0
注腸	外来	0	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0
ST 食道透視	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	合計	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
CT	外来	61	67	64	57	44	31	44	30	43	43	29	37
	入院	35	35	34	15	30	25	34	33	27	27	27	17
	造影	4	2	3	2	2	1	1	0	0	0	2	0
	合計	100	104	101	74	76	57	79	63	70	70	58	54
骨密度	外来	76	59	67	73	46	31	34	49	34	33	37	41
	入院	42	30	38	27	51	26	38	39	27	34	25	16
	合計	118	89	105	100	97	57	72	88	61	67	62	57
EKG	外来	0	1	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0
	入院	2	2	3	0	2	2	3	2	2	3	0	0
	合計	2	3	4	0	3	4	3	2	2	4	0	0
EEG	外来	58	41	78	63	52	20	42	38	22	29	29	42
	入院	9	6	6	4	4	5	1	4	1	3	5	2
	合計	67	47	84	67	56	25	43	42	23	32	34	44
腹部 エコー	外来	9	4	5	10	11	5	6	7	6	7	4	2
	入院	8	11	5	6	9	4	2	2	6	5	0	1
	合計	17	15	10	16	20	9	8	9	12	12	9	3

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心エコー	外来	74	64	56	50	17	19	12	8	6	6	6	3
	入院	14	11	15	10	13	12	11	11	18	11	10	9
	合計	88	75	71	60	30	31	23	19	24	17	16	12
頸動脈エコー	外来	0	0	2	2	0	1	1	0	4	1	2	0
	入院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	2	3	0	1	1	0	4	1	2	0
CAVI	外来	8	10	10	7	9	7	8	6	11	7	11	3
	入院	2	2	3	3	2	4	0	2	1	2	1	0
	合計	3	5	7	4	3	6	2	3	2	5	2	0
眼底	合計	11	8	8	14	18	14	12	10	14	13	9	7

#### キ. 次年度への課題・目標

- ・施設間交流の活発化
- ・各種研修会への参加
- ・資格の取得（主に超音波検査士）
- ・接遇の向上
- ・各種マニュアル等の改訂・作成
- ・新体制に向けて各WGへの参加

### ④栄養サービス科

#### ア. スタッフ・業務体制

病院側：管理栄養士 2名（準職員 1名）  
 委託側：管理栄養士 1名  
           栄養士      1名  
           調理師      2名  
           調理補助   5名（パート 5名）

#### イ. 業務内容

- (ア) 給食管理
- ㊦学童食の新設
  - ㊧食数管理
  - ㊨献立管理（確認及び提供内容のチェック）
  - ㊩嗜好調査の実施（2回/年）
- (イ) 栄養管理
- ㊦入院患者栄養管理計画書の作成
  - ㊧入院患者栄養アセスメント業務
- (ウ) 栄養指導
- ㊦入院食事指導（退院時含む）・外来食事指導
  - ㊧大道クリニック外来栄養指導
  - ㊨大道クリニック透析患者（ベッドサイド）栄養指導

## (エ) 委員会の運営

⑦参加 栄養委員会、NST 委員会（非算定）、褥瘡委員会

## (オ) その他

⑦健康教室の運営（外部講師の依頼、軽食準備等）

⑧帝国ホテルクリニック栄養アドバイス業務の実施（森ノ宮病院栄養サービス科と協働）

## ウ. 業務実績

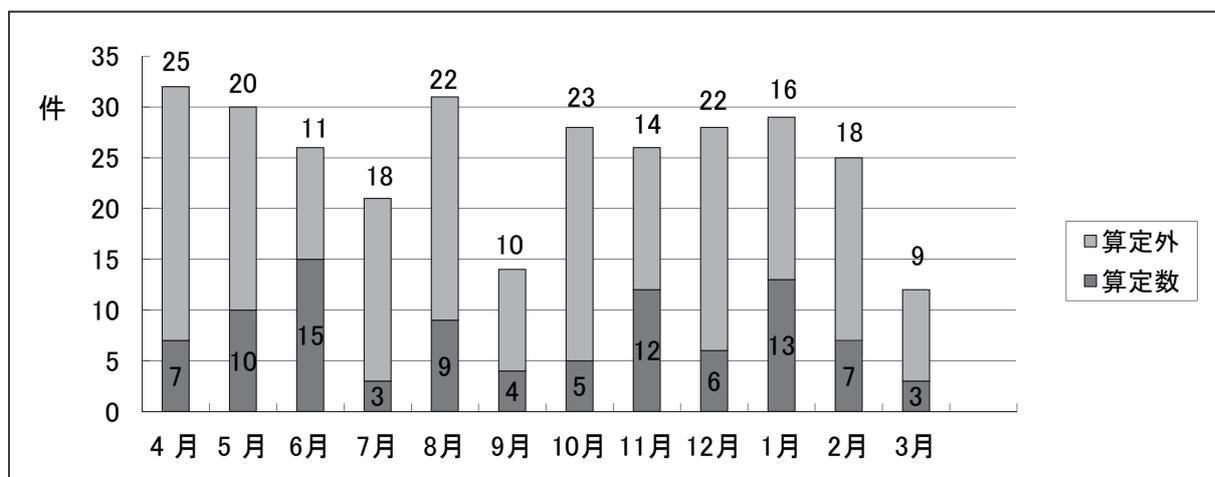
## (ア) 当院栄養指導件数

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	32	30	26	21	31	14	28	26	28	29	25	12	302
外来	3	2	1	2	1	1	2	2	0	0	0	1	15
合計	35	32	27	23	32	15	30	28	28	29	25	13	317

## (イ) 大道クリニック栄養指導件数

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	6	5	5	6	4	5	6	3	5	6	4	4	59
他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3
合計	6	5	5	6	4	5	7	3	5	6	5	5	62

## (ウ) 入院時指導における算定状況



## (エ) 帝国ホテルクリニックアドバイス業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボバース	4	12	5	3	17	9	1	9	5	3	16	15	99
森之宮	10	10	4	1	6	0	3	0	0	0	0	0	34
オーダー数	14	22	9	4	23	9	4	9	5	3	16	15	133

## エ. 今後の展望

## (ア) 栄養指導件数

⑦当院栄養指導：入院 20 件 + 外来 3 件

⑧大道クリニック透析外来：7 件

⑨入院指導の実施率目標：90%

(イ) 平成 30 年 10 月に向け小児の食糧構成及び院内規約の整備

(ウ) 病棟カンファレンスへの参加（リハビリに貢献できる栄養の確保）

(エ) 研修会への積極的な参加

各種学会及び各種研修会に積極的に参加し、研鑽に励む

## (6) 事務部

## ア. 活動報告

(体制)

事務長 1 名、主任 4 名、常勤職員 13 名、パート職員 4 名

(内、庶務 3 名、医療クラーク 2 名、診療情報管理士 1 名、医局秘書 1 名)

(取り組み)

(ア) 脳性まひ講演会の運営

脳性まひの方とそのご家族、他関係機関の職員を対象に、当法人の医師やリハビリスタッフが講師となり、医療機関と患者、ご家族が双方向で交流できる場を目指した。

日程	テーマ	講師
平成 29 年 4 月 22 日	脳性まひの方の食事について	椎名部長
平成 29 年 7 月 22 日	PVL による脳性まひの特徴と治療	荒井院長
平成 29 年 10 月 14 日	脳性まひ患者による頸椎症性頸髄症について	原田医師
平成 30 年 1 月 20 日	乳幼児の脳性まひの診断と治療方法	北井医師 / 永島教育主幹

(イ) 患者移行

法人内施設への患者移行に伴い、関連部署と連携・協力し、患者への説明・案内・誘導を行った。

(ウ) 実習生の受け入れ

大阪医療秘書福祉専門学校 1 名 平成 29 年 6 月 19 日～7 月 15 日

大阪医療技術学園専門学校 1 名 平成 29 年 7 月 24 日～8 月 18 日

(エ) 勉強会

毎月開催し、減点・返戻情報の報告や対策の検討を行った。

業務の再確認や情報の共有等を行い知識向上につなげた。

(オ) 保険診療対策

医局会・事務部勉強会で減点内容や注意事項の報告をし、情報の共有を行い更なる精度向上を目指した。

## 減点率の推移

	H28・下期	H29・上期	H29・下期
支払基金	0.30%	0.49%	0.26%
国保連合	0.07%	0.05%	0.10%

## (カ) 施設運営

電気・ガス・水道光熱費用として、昨年度より約 62 万円の経費軽減が図れた。  
設備の運転・運用の管理、法定関係の検査・書類作成を問題なく行った。  
年 2 回の自衛消防訓練を実施した。

## イ. 次年度への課題・目標

- ・病院再編成に向け、スムーズな患者移行を行う為関連部署との協力体制の強化
- ・障害者病棟対象者の集患及び広報・サポート体制の確立
- ・電子カルテ導入に伴う業務整理・準備
- ・医療クラーク配置による勤務医負担軽減の業務遂行
- ・診療報酬改定の対応と病院編成に基づいた適正な保険請求
- ・改修工事の計画を遅滞なく進め、現場運用に支障をきたさないサポート

## (7) 全体研修会

## 平成 29 年度 院内勉強会スケジュール

	日時	演題	対象
第 62 回	H29年5月16日	医療安全管理委員会からの報告	全職員
第 63 回	H29年8月8日	HIV と AIDS	全職員
第 64 回	H29年9月19日	緊急対応について	全職員
第 65 回	H29年10月17日	思春期～青年期の人達との関わり方	全職員
第 66 回	H29年12月5日	マスクについて 手洗い確認の結果報告	全職員
特別回	H29年12月19日	障がい者の人権問題	全職員
第 67 回	H30年3月20日	個人情報保護について	全職員

### 3 統計

平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）の疾病統計について

退院患者数 679 件

#### ア. 診療科別・疾病別患者数

循環器系 180 件（全退院患者の 26.5%）

そのうち脳卒中が 173 件（脳梗塞 76 件、脳出血 59 件、クモ膜下出血 9 件、後遺症※ 29 件）であった。 ※発症後 1 年以上経過したもの

#### イ. 疾病別・在院日数別患者数

循環器系では在院期間 3～6 ヶ月が 143 件と 79.4%を占めている

#### ウ. 疾病別・年齢階層別患者数

循環器系では 60・70 才代が 91 件で 50.6%であった

全退院に占める 70 才以上の割合は 240 件で 35.3%であった

全退院における平均年齢は 50.2 才であった

#### エ. 診療圏別患者数

城東区 145 件、東成区 47 件、大阪市 377 件、東大阪市 74 件、大阪市を除く大阪府 213 件、他府県 88 件であった

全体に占める割合は

城東区 21.4%、東成区 6.9%、大阪市 55.5%、東大阪市 10.9%、大阪市を除く大阪府 31.4%、他府県 13.0%であった

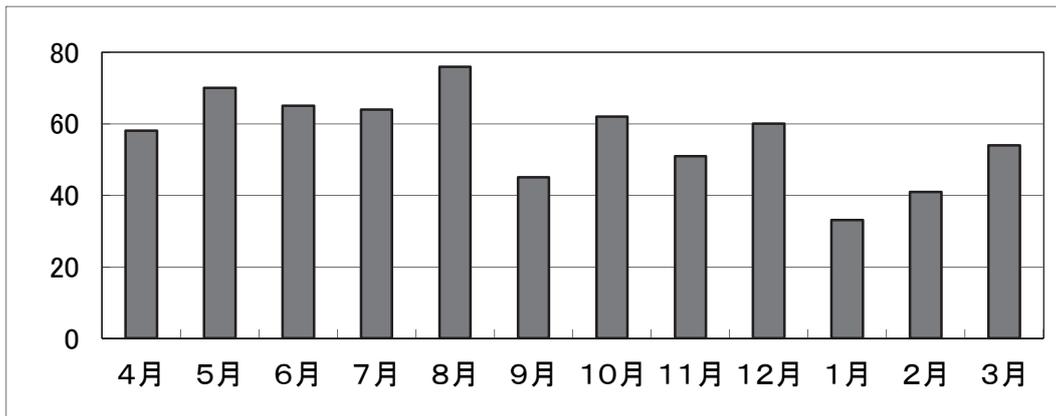
#### オ. 平均在院日数

内科	68.8 日	脳卒中患者全体	78.2 日
神経内科	63.6 日	脳梗塞	89.4 日
整形外科	51.1 日	脳出血	89.3 日
小児科	23.4 日	クモ膜下出血	52.4 日
歯科	1.0 日	後遺症	34.4 日
全体	42.6 日		

## (1) 退院患者数に関する資料

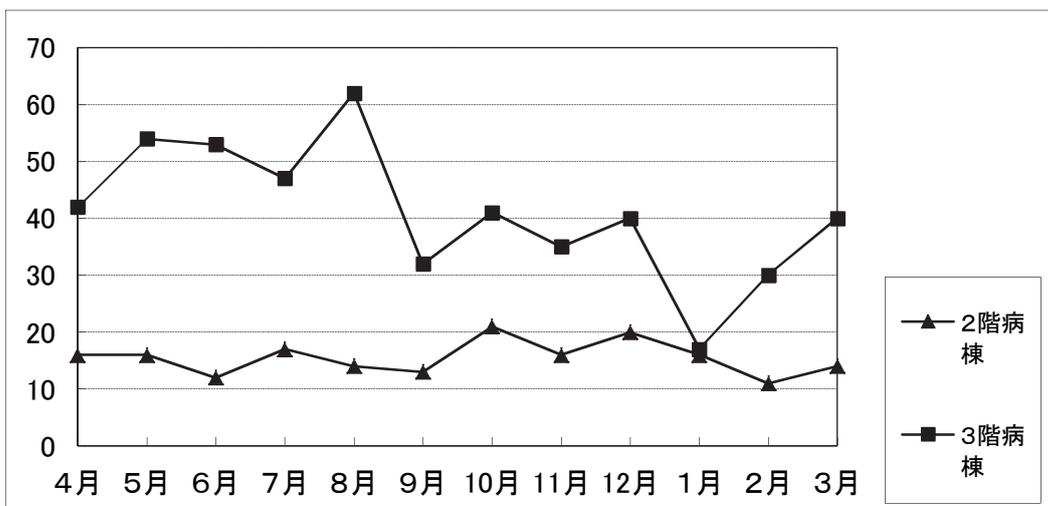
## ①診療科別 月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	27	31	28	23	24	19	24	25	33	18	-	-	252
神経内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	27	46
整形外科	7	11	7	9	1	3	7	5	5	4	7	4	70
小児科	12	13	13	15	32	18	28	18	19	9	14	21	212
歯科	12	15	17	17	19	5	3	3	3	2	1	2	99
計	58	70	65	64	76	45	62	51	60	33	41	54	679



## ②病棟別 月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2階病棟	16	16	12	17	14	13	21	16	20	16	11	14	186
3階病棟	42	54	53	47	62	32	41	35	40	17	30	40	493
計	58	70	65	64	76	45	62	51	60	33	41	54	679



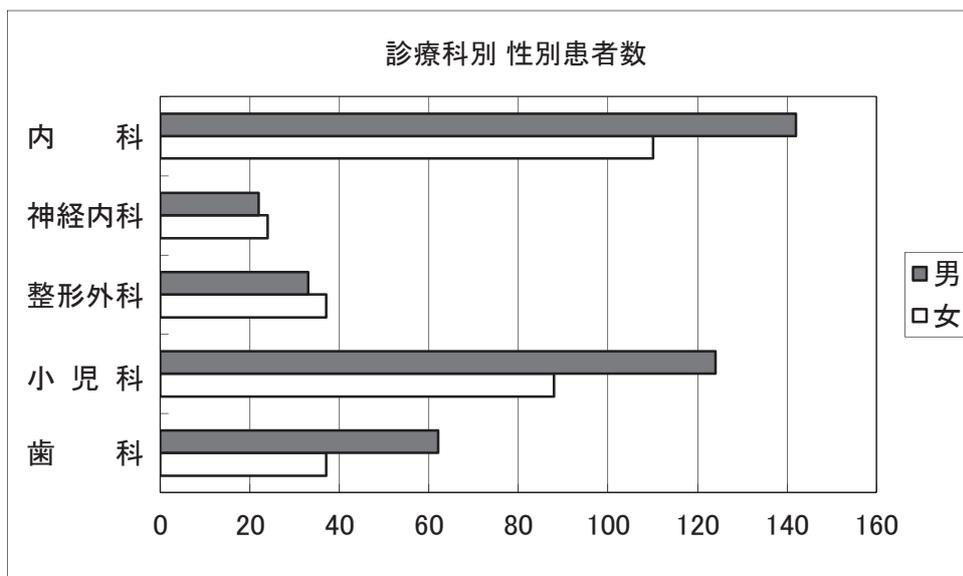
## ③診療科別 在院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	1,802	1,948	1,778	1,730	1,651	1,454	1,876	1,660	2,084	1,354	-	-	17,337
神経内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,145	1,782	2,927
整形外科	291	511	263	661	23	241	350	138	247	174	416	260	3,575
小児科	226	277	368	296	602	348	742	549	498	188	438	426	4,958
歯 科	13	15	18	17	19	6	3	3	3	2	1	2	102
計	2,332	2,751	2,427	2,704	2,295	2,049	2,971	2,350	2,832	1,718	2,000	2,470	28,899

	件 数	延在院日数	平均在院日数
内 科	252	17,337	68.8
神経内科	46	2,927	63.6
整形外科	70	3,575	51.1
小児科	212	4,958	23.4
歯 科	99	102	1.0
計	679	28,899	42.6

## ④診療科別 性別患者数及び死亡患者数

	退院患者数				死亡患者数			
	男	女	計	%	男	女	計	%
内 科	142	110	252	37.1	1	1	2	50.0
神経内科	22	24	46	6.8	0	1	1	25.0
整形外科	33	37	70	10.3	0	1	1	25.0
小児科	124	88	212	31.2	0	0	0	-
歯 科	62	37	99	14.6	0	0	0	-
計	383	296	679	100.0	1	3	4	100.0



⑤診療圏別 患者数

城東区内	計
古市	4
今福東	3
今福南	7
今福西	6
中央	5
野江	4
成育	5
関目	9
放出西	0
天王田	1
嶋野東	9
嶋野西	13
新喜多	2
蒲生	7
新喜多東	8
諏訪	12
永田	7
東中浜	31
中浜	10
森之宮	2
計	145

東成区内	計
深江北	4
深江南	3
神路	4
東今里	4
大今里	5
大今里南	1
大今里西	5
東中本	6
中本	9
玉津	2
東小橋	0
中道	4
計	47

大阪市内		計
北部ブロック	淀川区	6
	東淀川区	10
	北区	3
	都島区	19
	旭区	34
	計	72
西部ブロック	西淀川区	3
	此花区	2
	福島区	4
	港区	5
	西区	4
	大正区	1
	計	19
東部ブロック	中央区	5
	浪速区	1
	天王寺区	5
	城東区	145
	鶴見区	38
	東成区	47
	生野区	21
	計	262
南部ブロック	西成区	1
	阿倍野区	3
	住之江区	3
	住吉区	3
	東住吉区	4
	平野区	10
	計	24
合計		377

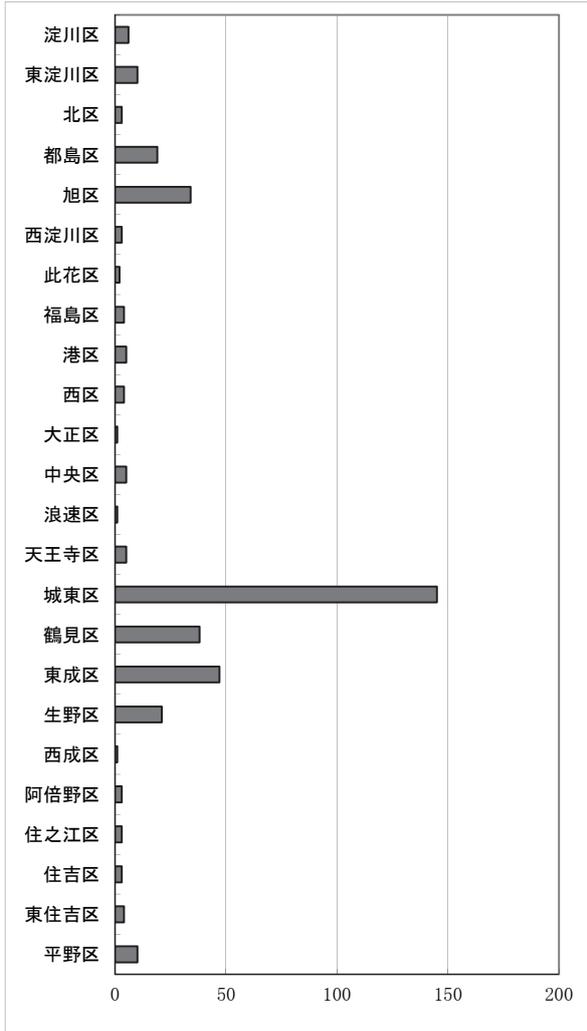
その他		計
住所不定		1
韓国		0
合計		1

総合集計	計
北海道地方	0
東北地方	0
北陸地方	1
関東地方	1
中部地方	9
近畿地方	660
中国地方	2
四国地方	4
九州地方	1
沖縄地方	0
その他	1
総計	679

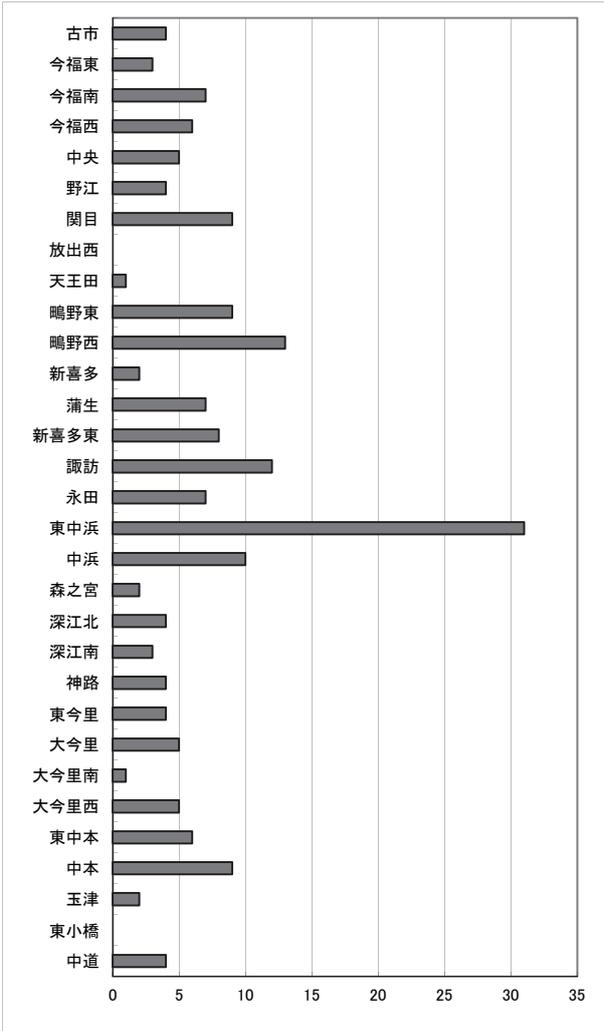
大阪府内		計
大阪市地域	大阪市	377
豊能地域	豊能郡	2
	池田市	3
	箕面市	5
	豊中市	7
	吹田市	10
	計	27
三島地域	茨木市	2
	摂津市	1
	高槻市	8
	三島郡	0
	計	11
北河内地域	守口市	6
	門真市	4
	寝屋川市	15
	大東市	16
	枚方市	11
	交野市	2
	四條畷市	4
	計	58
中河内地域	東大阪市	74
	八尾市	10
	柏原市	5
	計	89
南河内地域	松原市	6
	藤井寺市	0
	羽曳野市	1
	大阪狭山市	0
	富田林市	0
	南河内郡	1
	河内長野市	0
	計	8
堺市地域	堺市	10
泉州地域	高石市	0
	泉大津市	0
	泉北郡	0
	和泉市	2
	岸和田市	1
	貝塚市	0
	泉佐野市	3
	泉南市	0
	阪南市	4
	泉南郡	0
	計	10
合計		590

都道府県別		計
北海道地方	北海道	0
東北地方	青森県	0
	岩手県	0
	宮城県	0
	秋田県	0
	山形県	0
	福島県	0
	計	0
北陸地方	長野県	0
	新潟県	0
	富山県	0
	石川県	1
	福井県	0
	計	1
関東地方	茨城県	0
	栃木県	0
	群馬県	0
	埼玉県	0
	千葉県	0
	東京都	1
	神奈川県	0
	山梨県	0
	計	1
中部地方	岐阜県	2
	静岡県	0
	愛知県	4
	三重県	3
	計	9
近畿地方	滋賀県	2
	京都府	6
	大阪府	590
	兵庫県	56
	奈良県	4
	和歌山県	2
	計	660
中国地方	鳥取県	0
	島根県	1
	岡山県	1
	広島県	0
	山口県	0
	計	2
四国地方	徳島県	3
	香川県	1
	愛媛県	0
	高知県	0
	計	4
九州地方	福岡県	0
	佐賀県	0
	長崎県	0
	熊本県	1
	大分県	0
	宮崎県	0
	鹿児島県	0
	計	1
沖縄地方	沖縄県	0
合計		678

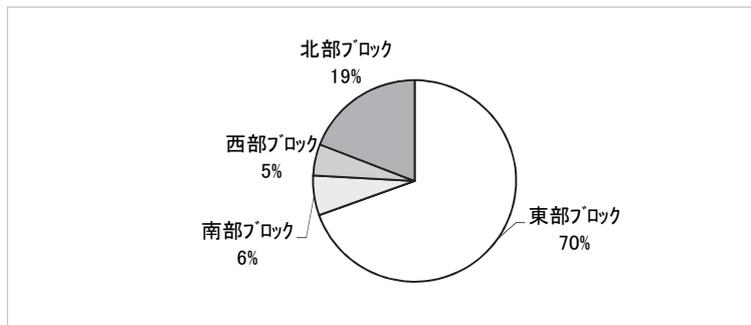
大阪市内患者数



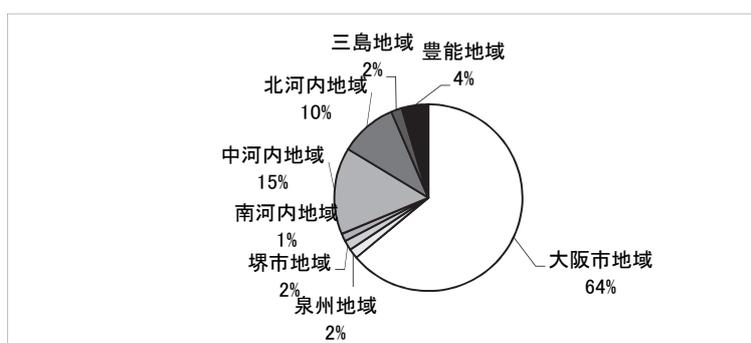
城東区・東成区内患者数



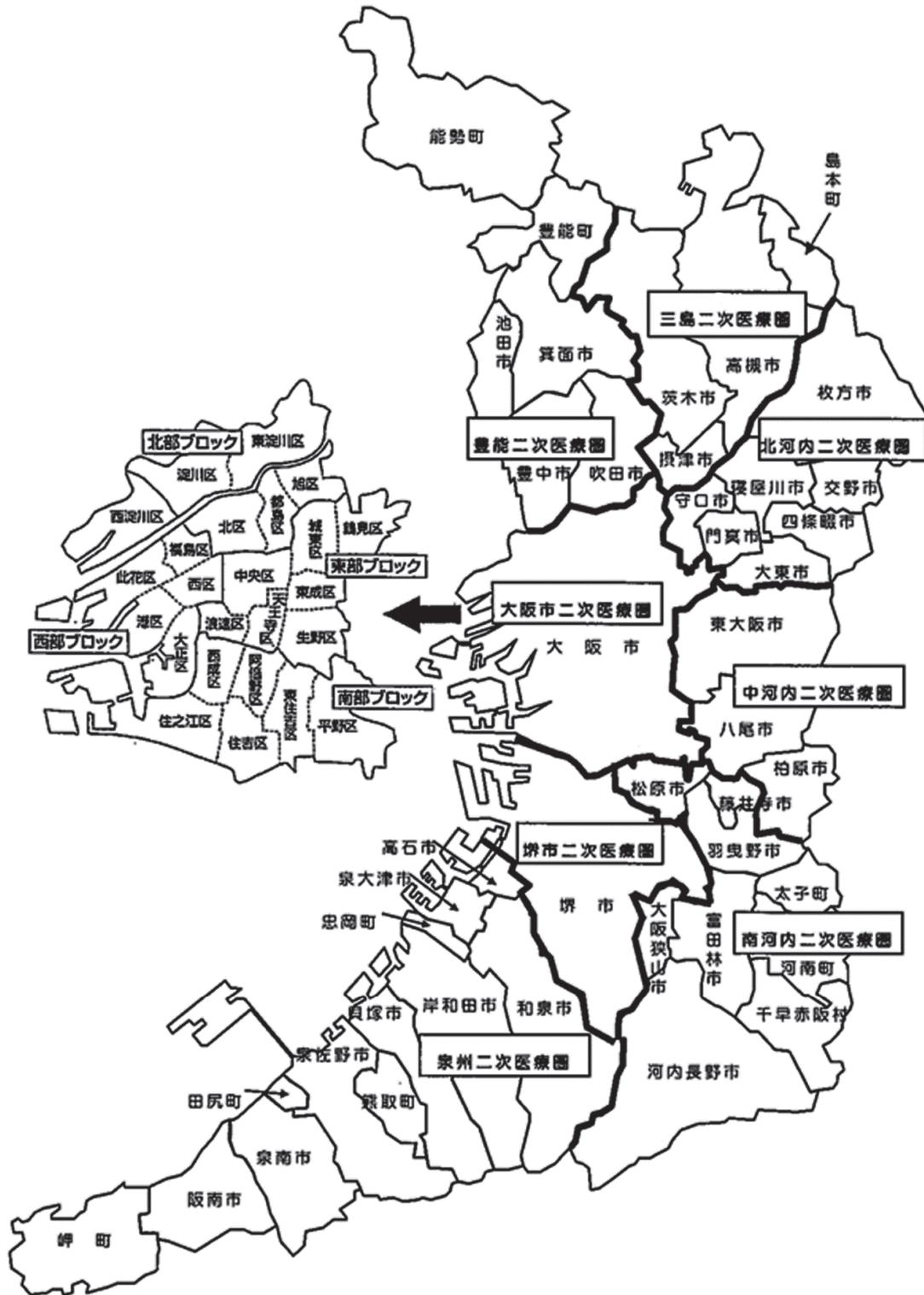
大阪市内分布図



大阪府内分布図



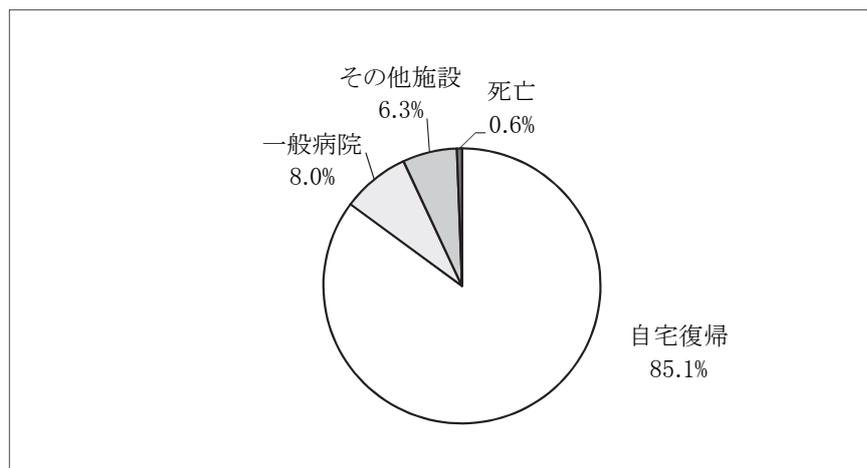
大阪府内診療圏区域図



各施設報告

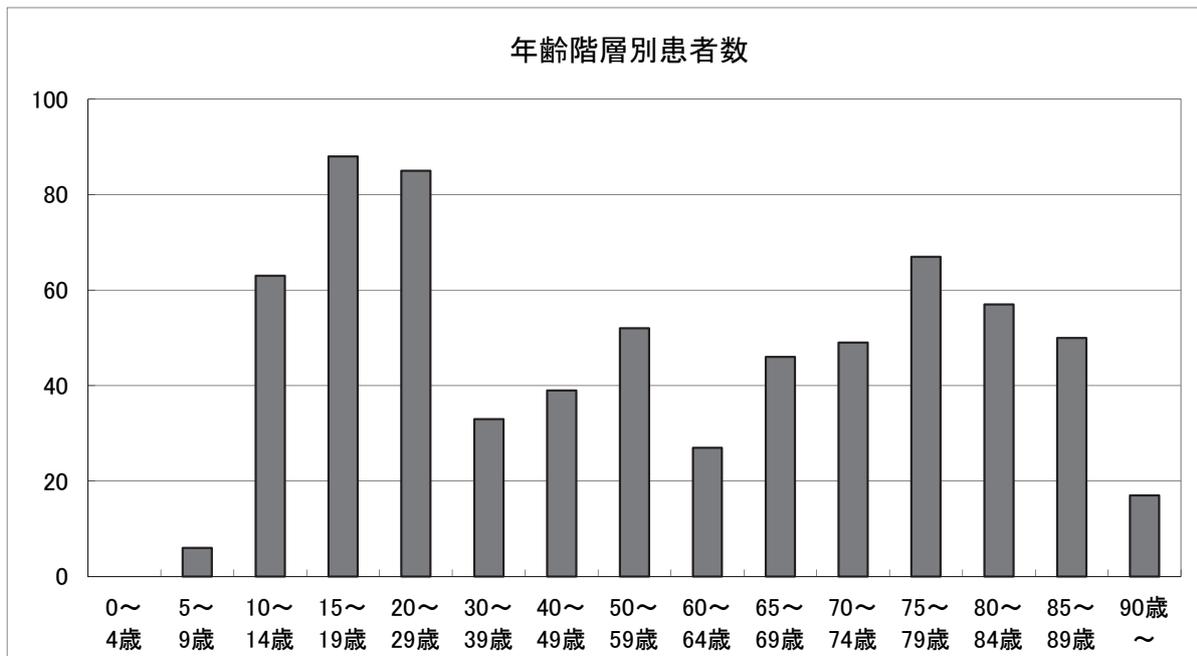
## ⑥診療科別 退院後の転帰

		内科	平均在院 日数	神経内科	平均在院 日数	整形外科	平均在院 日数	小児科	平均在院 日数	歯科	平均在院 日数	総数	平均在院 日数
自宅	当院に通院	86	53.4	16	57.1	30	34.7	209	23.3	99	1.0	440	26.2
	他院に通院	71	83.1	15	60.9	31	65.6	2	16.0	0	-	119	74.6
	当院と他院に通院	13	73.5	0	-	1	89.0	1	50.0	0	-	15	73.0
	その他	4	39.0	0	-	0	-	0	-	0	-	4	39.0
	小計	174	66.7	31	58.9	62	51.0	212	23.4	99	1.0	578	37.5
転医	一般病院	46	60.5	5	72.0	3	34.0	0	-	0	-	54	60.1
	その他施設	30	97.0	9	73.6	4	63.0	0	-	0	-	43	88.9
	小計	76	74.9	14	73.0	7	50.6	0	-	0	-	97	72.9
死亡		2	22.0	1	79.0	1	56.0	0	-	0	-	4	44.8
合計		252	68.8	46	63.6	70	51.1	212	23.4	99	1.0	679	42.6



## ⑦診療科別 年齢階層別患者数

		0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	合計	平均
内科	男	0	0	0	0	1	5	10	15	12	19	19	30	20	11	0	142	68.8
	女	0	0	0	0	3	1	4	7	5	8	16	17	18	20	11	110	74.7
	計	0	0	0	0	4	6	14	22	17	27	35	47	38	31	11	252	71.4
神経内科	男	0	0	0	0	0	1	2	2	3	5	5	2	1	1	0	22	66.0
	女	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	3	4	4	6	2	24	74.3
	計	0	0	0	0	1	2	3	3	3	6	8	6	5	7	2	46	70.3
整形外科	男	0	0	0	0	1	0	1	2	5	7	3	4	6	4	0	33	70.6
	女	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5	1	10	7	8	4	37	78.9
	計	0	0	0	0	1	0	2	3	5	12	4	14	13	12	4	70	75.0
小児科	男	0	1	37	45	33	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	124	18.8
	女	0	0	21	21	23	6	5	10	2	0	0	0	0	0	0	88	25.3
	計	0	1	58	66	56	10	7	12	2	0	0	0	0	0	0	212	21.5
歯科	男	0	5	3	11	14	7	10	9	0	0	2	0	1	0	0	62	32.3
	女	0	0	2	11	9	8	3	3	0	1	0	0	0	0	0	37	29.1
	計	0	5	5	22	23	15	13	12	0	1	2	0	1	0	0	99	31.1
総数	男	0	6	40	56	49	17	25	30	20	31	29	36	28	16	0	383	46.7
	女	0	0	23	32	36	16	14	22	7	15	20	31	29	34	17	296	54.8
	計	0	6	63	88	85	33	39	52	27	46	49	67	57	50	17	679	50.2



## ⑧紹介元医療機関別件数

紹介元医療機関 (1/2)	件数
無 (在宅ケア科含む)	402
藍の都脳神経外科病院	2
青森新都市病院	1
いけじり内科外科クリニック	2
石切生喜病院	3
医誠会病院	5
今林医院	1
宇治徳洲会病院	1
大阪警察病院	2
大阪市立総合医療センター	22
大阪市立大学医学部附属病院	2
大阪赤十字病院	9
大阪府三島救命救急センター	1
大阪労災病院	1
大手前病院	11
大浜第一病院	1
大道クリニック	4
おかもと歯科	1
回生病院	1
加納総合病院	1
川谷豊田総合病院	1
河内総合病院	3
関西医科大学総合医療センター	2
岸和田徳洲会病院	1
北大阪警察病院	2
北野病院	16
岐阜大学医学部附属病院	1
甲南病院	1
国立循環器病研究センター	2
国立病院機構大阪医療センター	17
国立病院機構京都医療センター	1
小島整形外科	1
済生会滋賀県病院	1
済生会千里病院	1
済生会中津病院	1
済生会野江病院	15
サトウ病院	1
城東中央病院	1
市立宇和島病院	1
市立岸和田市民病院	1
市立東大阪医療センター	2
住友病院	2
生協森の宮歯科	1
田島診療所	1
田辺脳神経外科病院	1
多根総合病院	2
暁生会脳神経外科病院	3
道後温泉病院	1
富永病院	1
なにわ生野病院	1
名張市立病院	1
奈良県総合医療センター	1
奈良県立医科大学附属病院	1
西宮協立脳神経外科病院	1
日生病院	1
寝屋川生野病院	1
野崎徳洲会病院	1
八尾はあとふる病院	1
放出ふれあいセンター	1
歯の花クリニック	5
はやし歯科医院	7

紹介元医療機関 (2/2)	件数
阪和記念病院	4
東大阪病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	3
福井県こども療育センター	1
福島診療所	1
福森歯科クリニック分院	2
福井県立病院	1
松下記念病院	2
松原徳洲会病院	1
松本歯科医院	2
南大阪小児リハビリテーション病院	1
明治橋病院	1
森川歯科八尾本町診療所	1
守口生野記念病院	2
森之宮病院	30
もりもと歯科	3
八尾総合病院	1
矢木脳神経外科病院	35
行岡病院	1
淀川キリスト教病院	1
米田歯科医院	4
李クリニック	1
若草第一病院	1
計	679

## ⑨診療科別 紹介元医療機関別件数

内科 紹介元医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	82
藍の都脳神経外科病院	2
青森新都市病院	1
石切生喜病院	3
医誠会病院	5
宇治徳洲会病院	1
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	14
大阪市立大学医学部附属病院	2
大阪赤十字病院	8
大阪府三島救命救急センター	1
大手前病院	8
大浜第一病院	1
大道クリニック	1
加納総合病院	1
川谷豊田総合病院	1
河内総合病院	2
関西医科大学総合医療センター	1
岸和田徳洲会病院	1
北野病院	10
甲南病院	1
国立循環器病研究センター	2
国立病院機構大阪医療センター	10
国立病院機構京都医療センター	1
小島整形外科	1
済生会滋賀県病院	1
済生会野江病院	13
城東中央病院	1
市立宇和島病院	1
市立岸和田市民病院	1
市立東大阪医療センター	2
住友病院	1
田島診療所	1
田辺脳神経外科病院	1
多根総合病院	2
暇生会脳神経外科病院	2
道後温泉病院	1
富永病院	1
名張市立病院	1
奈良県総合医療センター	1
西宮協立脳神経外科病院	1
日生病院	1
寝屋川生野病院	1
野崎徳洲会病院	1
八尾はあとふる病院	1
放出ふれあいセンター	1
阪和記念病院	3
福島診療所	1
福井県立病院	1
松下記念病院	2
南大阪小児リハビリテーション病院	1
明治橋病院	1
守口生野記念病院	2
森之宮病院	15
矢木脳神経外科病院	25
行岡病院	1
淀川キリスト教病院	1
李クリニック	1
若草第一病院	1
計	252

神経内科 紹介元医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	15
今林医院	1
大阪市立総合医療センター	5
大手前病院	1
大道クリニック	1
河内総合病院	1
北野病院	2
国立病院機構大阪医療センター	2
済生会中津病院	1
済生会野江病院	2
住友病院	1
暇生会脳神経外科病院	1
奈良県立医科大学附属病院	1
阪和記念病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
森之宮病院	4
矢木脳神経外科病院	6
計	46

整形外科 紹介元医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	25
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	3
大阪赤十字病院	1
大阪労災病院	1
大手前病院	2
大道クリニック	2
回生病院	1
関西医科大学総合医療センター	1
北大阪警察病院	1
北野病院	4
岐阜大学医学部附属病院	1
国立病院機構大阪医療センター	5
済生会千里病院	1
サトウ病院	1
なにわ生野病院	1
東大阪病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
松原徳洲会病院	1
森之宮病院	11
八尾総合病院	1
矢木脳神経外科病院	4
計	70

小児科 紹介元医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	209
北大阪警察病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
福井県子ども療育センター	1
計	212

歯科 紹介元医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	71
いけじり内科外科クリニック	2
おかもと歯科	1
生協森の宮歯科	1
歯の花クリニック	5
はやし歯科医院	7
福森歯科クリニック分院	2
松本歯科医院	2
森川歯科八尾本町診療所	1
もりもと歯科	3
米田歯科医院	4
計	99

## ⑩紹介先医療機関別件数

紹介先医療機関 (1/2)	件数
無 (在宅ケア科含む)	448
不明	47
赤松内科	1
新井クリニック	1
アルカンシエル東成	1
井口診療所	1
育和会記念病院	1
池岡クリニック	1
石切生喜病院	1
医誠会病院	2
伊勢慶友病院	1
井上医院	1
いのうえ診療所	1
今津生協診療所	1
今林医院	1
鶯	1
いわきクリニック	1
エスペラル城東	1
エスペラル東淀川	2
覆並診療所	1
大今里ケアホーム	1
大阪警察病院	2
大阪市更生療育センター	1
大阪城ケアホーム	2
大阪市立総合医療センター	4
大阪市立大学医学部付属病院	1
大阪赤十字病院	4
大手前病院	2
大野記念病院	1
大浜第一病院	1
大道クリニック	2
おとしより健康センター	1
おとしよりすこやかセンター北部館	1
ガーデンヒルズ門真	1
蒲生厚生診療所	2
からまつ苑	1
河内総合病院	2
北田医院	1
北野病院	5
北山内科クリニック	1
きょうクリニック	1
京都府立医科大学附属病院	1
久原診療所	1
久保医院	1
隈病院	1
グリーンライフ	9
ケアホームフォーシーズン	1
幸成園	1
こうだ医院	1
公道会病院	2
コープおおさか病院	2
国立病院機構大阪医療センター	4
秋桜会クリニック	1
小竹クリニック	1
済生会千里病院	1
済生会野江病院	4
サトウ病院	4
繁田内科クリニック	1
篠原医院	1
慈母園	1
しゃくど循環器・内科	1
焦クリニック	1
城東中央病院	2
白庭病院	1
真心会病院	1
聖和病院	2
せんぼ	1

紹介先医療機関 (2/2)	件数
高木医院	1
たちばな	1
菑間之郷	1
たなか内科	1
多根総合病院	2
たのしい家	1
たるみの里	1
ソチ病院	1
鶴見緑地病院	1
暁生会脳神経外科病院	1
徳島赤十字ひのみね総合療育センター	1
中村医院	1
中本病院	2
なにわ生野病院	1
名張市立病院	1
西宮回生病院	1
寝屋川十字の園	1
ハーモニー共和	1
橋本クリニック	1
はしもと内科・循環器科クリニック	1
花咲新町	1
ハミングベル中道	1
阪和記念病院	2
東大阪病院	2
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
平野新生苑	1
廣田クリニック	1
福島診療所	1
福島病院	1
福田医院	1
藤林クリニック	1
ふるおかクリニック	1
プレジデントホームさくら	1
平成曾根崎苑	2
平成みなと苑	1
朋愛病院	1
星田南病院	1
堀澤整形外科	1
牧病院	1
松下記念病院	2
松原徳洲苑	2
松矢整形外科	1
まほろば	1
村田病院	1
明生第二病院	1
森小路スマイルガーデン	1
森之宮病院	14
八尾はあとふる病院	1
矢木脳神経外科病院	4
山本医院	1
優心会クリニック	1
ゆうメディカルクリニック	1
悠々亭	1
淀川若葉会病院	1
頼経クリニック	1
ライフパートナー今福	1
わかくさ六万寺	1
計	679

## ⑪診療科別 紹介先医療機関別件数

内科 紹介先医療機関 (1/2)	件数
無 (在宅ケア科含む)	92
不明	31
赤松内科	1
新井クリニック	1
井口診療所	1
池岡クリニック	1
石切生喜病院	1
医誠会病院	2
伊勢慶友病院	1
いのうえ診療所	1
鶯	1
エスペラル城東	1
エスペラル東淀川	1
榎並診療所	1
大阪警察病院	1
大阪市更生療育センター	1
大阪城ケアホーム	2
大阪市立総合医療センター	2
大阪市立大学医学部付属病院	1
大阪赤十字病院	1
大手前病院	2
大野記念病院	1
大浜第一病院	1
大道クリニック	2
おとしよりすこやかセンター北部館	1
蒲生厚生診療所	1
からまつ苑	1
河内総合病院	2
北田医院	1
北野病院	3
きょうクリニック	1
京都府立医科大学附属病院	1
久保医院	1
隈病院	1
グリーンライフ	8
ケアホームフォーシーズン	1
幸成園	1
こうだ医院	1
公道会病院	2
コープおおさか病院	2
国立病院機構大阪医療センター	4
秋桜会クリニック	1
小竹クリニック	1
済生会野江病院	4
サトウ病院	2
篠原医院	1
しゃくど循環器・内科	1
城東中央病院	2
白庭病院	1
真心会病院	1
聖和病院	2
せんぼ	1
高木医院	1
たちばな	1
竜間之郷	1
たなか内科	1
多根総合病院	2
たのしい家	1
ツヂ病院	1
鶴見緑地病院	1
暁生会脳神経外科病院	1
中村医院	1
中本病院	1
名張市立病院	1

内科 紹介先医療機関 (2/2)	件数
寝屋川十字の園	1
ハーモニー共和	1
橋本クリニック	1
はしもと内科・循環器科クリニック	1
花咲新町	1
ハミングベル中道	1
阪和記念病院	2
福島病院	1
藤林クリニック	1
ふるおかクリニック	1
プレジデントホームさくら	1
平成みなと苑	1
星田南病院	1
松下記念病院	2
松原徳洲苑	1
まほろば	1
村田病院	1
明生第二病院	1
森小路スマイルガーデン	1
森之宮病院	12
矢木脳神経外科病院	3
淀川若葉会病院	1
頼経クリニック	1
ライフパートナー今福	1
わかくさ六万寺	1
計	252

神経内科 紹介先医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	17
不明	3
アルカンシエル東成	1
育和会記念病院	1
井上医院	1
今林医院	1
エスペラル東淀川	1
大阪市立総合医療センター	1
大阪赤十字病院	1
おとしより健康センター	1
ガーデンヒルズ門真	1
蒲生厚生診療所	1
久原診療所	1
サトウ病院	1
繁田内科クリニック	1
慈母園	1
焦クリニック	1
東大阪病院	2
平野新生苑	1
福島診療所	1
平成曾根崎苑	2
朋愛病院	1
森之宮病院	1
八尾はあとふる病院	1
矢木脳神経外科病院	1
ゆうメディカルクリニック	1
計	46

整形外科 紹介先医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	31
不明	12
今津生協診療所	1
いわきクリニック	1
大今里ケアホーム	1
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	1
大阪赤十字病院	2
北野病院	2
北山内科クリニック	1
グリーンライフ	1
済生会千里病院	1
サトウ病院	1
たるみの里	1
中本病院	1
なにわ生野病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
廣田クリニック	1
福田医院	1
堀澤整形外科	1
牧病院	1
松原徳洲苑	1
松矢整形外科	1
森之宮病院	1
山本医院	1
優心会クリニック	1
悠々亭	1
計	70

小児科 紹介先医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	209
不明	1
徳島赤十字ひのみね総合療育センター	1
西宮回生病院	1
計	212

歯科 紹介先医療機関	件数
無 (在宅ケア科含む)	99
不明	0
計	99

## (2) 疾病に関する資料

## ①疾病別 診療科別患者数

国際分類大項目分類		総数	内科	神経内科	整形外科	小児科	歯科
総数	計	679	252	46	70	212	99
	男	383	142	22	33	124	62
	女	296	110	24	37	88	37
I 感染症及び寄生虫症	計	4	3	-	-	1	-
	男	2	1	-	-	1	-
	女	2	2	-	-	-	-
II 新生物(悪性新生物)	計	7	5	-	1	1	-
	男	3	2	-	-	1	-
	女	4	3	-	1	-	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	4	4	-	-	-	-
	男	2	2	-	-	-	-
	女	2	2	-	-	-	-
V 精神及び行動の障害	計	2	1	-	-	1	-
	男	1	-	-	-	1	-
	女	1	1	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	計	199	7	1	-	191	-
	男	114	5	-	-	109	-
	女	85	2	1	-	82	-
VII 眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	計	180	148	22	4	6	-
	男	101	83	9	4	5	-
	女	79	65	13	-	1	-
X 呼吸器系の疾患	計	10	9	1	-	-	-
	男	5	4	1	-	-	-
	女	5	5	-	-	-	-
X I 消化器系の疾患	計	99	-	-	-	-	99
	男	62	-	-	-	-	62
	女	37	-	-	-	-	37
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	計	4	4	-	-	-	-
	男	4	4	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	74	42	16	16	-	-
	男	39	24	8	7	-	-
	女	35	18	8	9	-	-
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	計	7	5	2	-	-	-
	男	4	3	1	-	-	-
	女	3	2	1	-	-	-
X V 妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
X VI 周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	5	-	-	-	5	-
	男	3	-	-	-	3	-
	女	2	-	-	-	2	-
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	計	7	-	-	7	-	-
	男	7	-	-	7	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	77	24	4	42	7	-
	男	36	14	3	15	4	-
	女	41	10	1	27	3	-
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービス	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-
X X II 特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-

## ②疾病別 在院日数別患者数

国際分類大項目分類		1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1年～	総数	平均 在院日数	
I	感染症及び寄生虫症	計	2	-	-	-	1	1	-	-	4	65.5	
II	新生物(悪性新生物)	計	-	-	-	3	1	2	1	-	7	58.6	
III	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	1	1	1	-	-	1	-	-	4	32.5	
V	精神及び行動の障害	計	1	-	1	-	-	-	-	-	2	11.5	
VI	神経系の疾患	計	17	51	63	35	24	6	3	-	199	24.6	
VII	眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
IX	循環器系の疾患	計	6	17	3	11	42	30	71	-	180	76.6	
X	呼吸器系の疾患	計	1	1	-	2	2	3	1	-	10	48.7	
X I	消化器系の疾患	計	99	-	-	-	-	-	-	-	99	1.0	
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	-	1	1	-	1	1	-	-	4	33.0	
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	1	2	5	9	30	22	5	-	74	56.1	
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	2	3	1	-	-	1	-	-	7	20.3	
X V	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
X VI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	1	3	1	-	-	-	-	-	5	13.2	
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	計	-	7	-	-	-	-	-	-	7	15.0	
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1	11	4	8	22	21	10	-	77	54.6	
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービス	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
X X II	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
総数			132	97	80	68	122	87	93	0	0	679	42.6

## ③疾病別 年齢階層別患者数

国際分類大項目分類		0才 ～4	5才 ～9	10才 ～14	15才 ～19	20才 ～29	30才 ～39	40才 ～49	50才 ～59	60才 ～64	65才 ～69	70才 ～74	75才 ～79	80才 ～84	85才 ～89	90才 ～	総数	平均 年齢	
I	感染症及び寄生虫症	計	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	4	54.5	
II	新生物(悪性新生物)	計	-	-	1	1	-	-	2	-	-	1	1	-	1	-	7	56.9	
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	4	66.0	
V	精神及び行動の障害	計	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	51.5	
VI	神経系の疾患	計	-	1	53	62	49	6	7	14	3	2	1	-	-	1	199	23.2	
VII	眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
IX	循環器系の疾患	計	-	-	2	-	4	3	10	16	14	22	28	27	28	20	6	180	70.0
X	呼吸器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	3	10	87.2	
X I	消化器系の疾患	計	-	5	5	22	23	15	13	12	-	1	2	-	1	-	99	31.1	
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	4	80.0	
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	-	-	-	-	1	-	4	4	5	11	8	21	12	6	2	74	72.7
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	2	1	7	82.6	
X V	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
X VI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17.4	
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	計	-	-	-	-	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-	7	63.4	
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	-	-	-	3	2	9	5	2	1	7	6	16	8	14	4	77	67.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービス	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
X X II	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	
総数			0	6	63	88	85	33	39	52	27	46	49	67	57	50	17	679	50.2

## ④診療科別 疾病頻度順

## 内科

順位	コード	病名	件数	平均在院	最高在院	最低在院	入院時	延在院	延入院時
				日数	日数	日数	平均年齢	日数	年齢
1	M625	筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	36	53.6	116	15	72.7	1,928	2,617
2	I610	(大脳)半球の脳内出血、皮質下	35	100.3	173	2	71.3	3,509	2,496
3	I638	その他の脳梗塞	22	84.3	155	3	68.4	1,855	1,504
4	I633	脳動脈の血栓症による脳梗塞	18	102.7	150	41	73.4	1,849	1,321
5	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	12	89.5	165	8	82.7	1,074	992
	I691	脳内出血の続発・後遺症	12	39.1	87	15	70.7	469	848
6	I635	脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	8	92.4	162	29	67.9	739	543
7	I693	脳梗塞の続発・後遺症	7	41.3	104	6	68.9	289	482
	S062	びまん性脳損傷	7	65.3	142	13	49.0	457	343
8	I619	脳内出血、詳細不明	6	34.7	52	31	70.7	208	424
9	I639	脳梗塞、詳細不明	5	87.8	124	41	81.2	439	406
10	I609	くも膜下出血、詳細不明	4	52.3	71	11	72.8	209	291
	J189	肺炎、詳細不明	4	41.0	65	14	88.5	164	354
	S063	局所性脳損傷	4	24.3	48	12	35.3	97	141
11	I611	(大脳)半球の脳内出血、皮質	3	83.3	113	31	60.0	250	180
	J690	食物及び吐物による肺臓炎	3	44.7	65	23	87.3	134	262
	L031	(四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	3	40.3	63	22	80.0	121	240
	S320	腰椎骨折	3	69.0	90	43	77.3	207	232
12	E119	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM> 合併症を伴わないもの	2	14.5	19	10	78.0	29	156
	I500	うっ血性心不全	2	29.0	50	8	87.5	58	175
	I601	中大脳動脈からのくも膜下出血	2	35.5	50	21	61.5	71	123
	I602	前交通動脈からのくも膜下出血	2	75.5	116	35	65.5	151	131
	I690	くも膜下出血の続発・後遺症	2	53.0	60	46	63.0	106	126
	M480	脊柱管狭窄(症)	2	49.0	50	48	78.5	98	157
	S065	外傷性硬膜下出血	2	100.0	134	66	71.5	200	143
	S066	外傷性くも膜下出血	2	80.0	100	60	77.0	160	154
13		その他の疾患	44	56.0	170	3	71.5	2,466	3,148
合計			252	68.8	173	2	71.4	17,337	17,989

## 神経内科

順位	コード	病名	件数	平均在院	最高在院	最低在院	入院時	延在院	延入院時
				日数	日数	日数	平均年齢	日数	年齢
1	M625	筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	16	54.0	121	3	69.4	864	1,110
2	I610	(大脳)半球の脳内出血、皮質下	8	76.5	110	32	75.6	612	605
3	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	4	68.5	114	36	81.3	274	325
4	I638	その他の脳梗塞	3	77.0	81	74	79.0	231	237
5	I613	脳幹の脳内出血	2	75.5	97	54	53.5	151	107
	S065	外傷性硬膜下出血	2	65.0	94	36	76.5	130	153
6	G610	ギラン・バレー<Guillain-Barre>症候群	1	144.0	144	144	28.0	144	28
	I602	前交通動脈からのくも膜下出血	1	41.0	41	41	52.0	41	52
	I611	(大脳)半球の脳内出血、皮質	1	54.0	54	54	37.0	54	37
	I614	小脳の脳内出血	1	95.0	95	95	82.0	95	82
	I632	脳実質外動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	1	89.0	89	89	87.0	89	87
	I693	脳梗塞の続発・後遺症	1	15.0	15	15	73.0	15	73
	J209	急性気管支炎、詳細不明	1	87.0	87	87	88.0	87	88
	N180	末期腎疾患	1	9.0	9	9	66.0	9	66
	N390	尿路感染症、部位不明	1	7.0	7	7	88.0	7	88
	S063	局所性脳損傷	1	94.0	94	94	33.0	94	33
	S422	上腕骨近位端骨折	1	30.0	30	30	64.0	30	64
合計			46	63.6	144	3	70.3	2,927	3,235

## 整形外科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	S720	大腿骨頸部骨折	9	73.1	95	49	79.1	658	712
2	R252	(有痛性)けいれん<痙攣>	6	15.0	15	15	63.7	90	382
	S721	転子貫通骨折	6	73.0	92	34	83.5	438	501
3	M480	脊柱管狭窄(症)	4	70.0	89	49	75.0	280	300
	S220	胸椎骨折	4	44.5	59	27	87.3	178	349
	S320	腰椎骨折	4	63.8	88	28	81.3	255	325
	S422	上腕骨近位端骨折	4	29.5	50	4	71.0	118	284
4	I691	脳内出血の続発・後遺症	3	15.0	15	15	66.0	45	198
5	M170	原発性膝関節症、両側性	2	70.0	72	68	86.0	140	172
	M478	その他の脊椎症	2	40.5	55	26	78.0	81	156
	S460	肩(回旋筋)腱板の腱損傷	2	19.0	23	15	66.0	38	132
6	D321	脊髄膜	1	77.0	77	77	76.0	77	76
	I693	脳梗塞の続発・後遺症	1	15.0	15	15	80.0	15	80
	M161	その他の原発性股関節症	1	92.0	92	92	68.0	92	68
	M239	膝内障、詳細不明	1	21.0	21	21	78.0	21	78
	M245	関節拘縮	1	29.0	29	29	45.0	29	45
	M471	ミエロパチ<シ>-<脊髄障害>を伴うその他の脊椎症	1	130.0	130	130	84.0	130	84
	M488	その他の明示された脊椎障害	1	183.0	183	183	65.0	183	65
	M512	その他の明示された椎間板ヘルニア<変位>	1	28.0	28	28	79.0	28	79
	M545	下背部痛	1	49.0	49	49	82.0	49	82
	M704	膝蓋前部滑液包炎	1	78.0	78	78	50.0	78	50
	R262	歩行困難、他に分類されないもの	1	15.0	15	15	62.0	15	62
	S221	胸椎の多発骨折	1	61.0	61	61	85.0	61	85
	S325	恥骨骨折	1	41.0	41	41	88.0	41	88
	S327	腰椎及び骨盤の多発骨折	1	35.0	35	35	88.0	35	88
	S423	上腕骨骨幹部骨折	1	32.0	32	32	27.0	32	27
	S519	前腕の開放創、部位不明	1	13.0	13	13	78.0	13	78
	S525	橈骨遠位端骨折	1	12.0	12	12	83.0	12	83
	S722	転子下骨折	1	56.0	56	56	98.0	56	98
	S723	大腿骨骨幹部骨折	1	66.0	66	66	45.0	66	45
	S724	大腿骨遠位端骨折	1	89.0	89	89	87.0	89	87
	S823	脛骨遠位端骨折	1	53.0	53	53	79.0	53	79
	S825	内果骨折	1	21.0	21	21	58.0	21	58
	S903	足のその他及び部位不明の挫傷	1	23.0	23	23	73.0	23	73
	T021	胸部<郭>の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの	1	35.0	35	35	80.0	35	80
		合計	70	51.1	183	4	75.0	3,575	5,249

## 小児科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	G801	けいこ瘻性両(側)麻痺型脳性麻痺	83	23.0	64	3	22.6	1,908	1,879
2	G803	ジスキネジー性脳性麻痺	45	21.8	73	1	24.2	983	1,087
3	G800	けいこ瘻性四肢麻痺型脳性麻痺	32	25.0	93	3	19.3	800	619
4	G802	けいこ瘻性片麻痺型脳性麻痺	7	17.9	31	8	15.3	125	107
5	G931	無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	6	23.7	46	3	19.0	142	114
6	G934	脳症<エンセファロパチ>、詳細不明	5	18.0	22	15	14.6	90	73
	T909	頭部の詳細不明の損傷の続発・後遺症	5	35.4	75	15	21.6	177	108
7	G804	(運動)失調性脳性麻痺	4	20.3	29	15	13.8	81	55
8	G114	遺伝性けいこ瘻性対麻痺	3	20.3	25	15	25.0	61	75
	G319	神経系の変性疾患、詳細不明	3	15.7	16	15	16.7	47	50
	I693	脳梗塞の続発・後遺症	3	19.7	29	15	19.0	59	57
	Q870	先天奇形症候群、主として顔貌異常を伴うもの	3	15.0	15	15	18.0	45	54
9	A811	亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	1	3.0	3	3	25.0	3	25
	D229	メラニン細胞性母斑、部位不明	1	29.0	29	29	19.0	29	19
	F791	詳細不明の知的障害<精神遅滞>手当てまたは治療を要するほどの行動面の機能障害	1	3.0	3	3	13.0	3	13
	G040	急性播種性脳炎	1	38.0	38	38	26.0	38	26
	G09	中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症	1	22.0	22	22	13.0	22	13
	G821	けいこ瘻性対麻痺	1	30.0	30	30	23.0	30	23
	I620	硬膜下出血(急性)(非外傷性)	1	29.0	29	29	31.0	29	31
	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	1	63.0	63	63	14.0	63	14
	I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	1	77.0	77	77	26.0	77	26
	Q873	早期過(剰)成長を含む先天奇形症候群	1	3.0	3	3	20.0	3	20
	Q938	常染色体のその他の欠失	1	18.0	18	18	13.0	18	13
	S065	外傷性硬膜下出血	1	15.0	15	15	35.0	15	35
	T905	頭蓋内損傷の続発・後遺症	1	110.0	110	110	30.0	110	30
合計			212	23.4	110	1	21.5	4,958	4,566

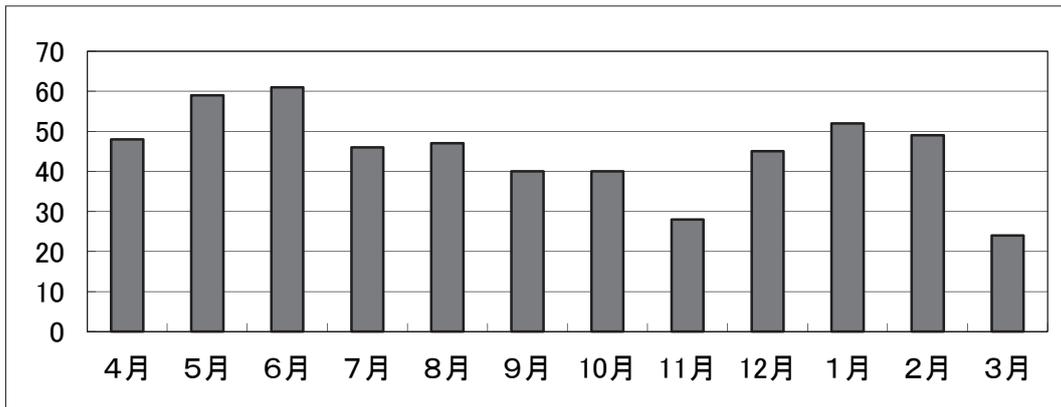
## 歯科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	K040	歯髄炎	33	1.1	2	1	28.2	35	929
2	K045	慢性根尖性歯周炎	29	1.0	2	1	34.7	30	1,005
3	K021	象牙質う蝕	15	1.0	1	1	26.3	15	394
4	K053	慢性歯周炎	12	1.0	1	1	31.8	12	381
5	K081	事故、抜歯又は局所の歯周疾患による歯の喪失	4	1.0	1	1	37.3	4	149
6	K029	う蝕、詳細不明	2	1.0	1	1	31.5	2	63
7	K006	歯の萌出障害	1	1.0	1	1	32.0	1	32
	K048	歯根のう蝕	1	1.0	1	1	84.0	1	84
	K068	歯肉及び無歯顎堤のその他の明示された障害	1	1.0	1	1	14.0	1	14
	K073	歯の位置異常	1	1.0	1	1	28.0	1	28
合計			99	1.0	2	1	31.1	102	3,079

## (3) 初診患者数に関する資料

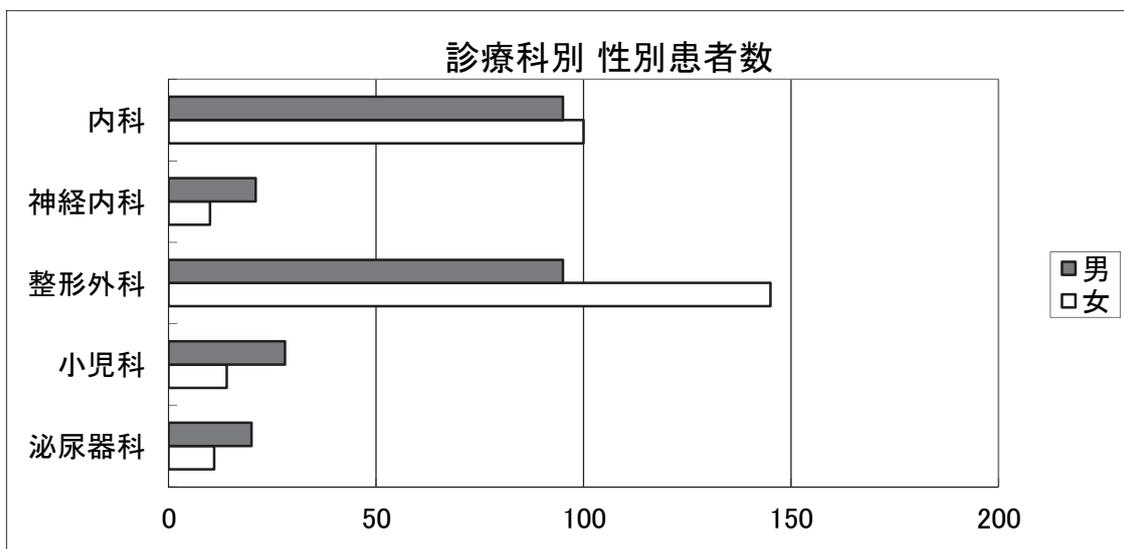
## ①診療科別 月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	22	15	24	23	15	15	21	14	22	24	-	-	195
神経内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	6	31
整形外科	23	33	28	18	23	22	13	12	18	21	17	12	240
小児科	3	6	2	2	2	0	2	2	3	7	7	6	42
泌尿器科	0	5	7	3	7	3	4	0	2	-	-	-	31
計	48	59	61	46	47	40	40	28	45	52	49	24	539



## ②診療科別 性別患者数

	男	女	計	%
内 科	95	100	195	36.2
神経内科	21	10	31	5.8
整形外科	95	145	240	44.5
小児科	28	14	42	7.8
泌尿器科	20	11	31	5.8
計	259	280	539	100.0



③診療圏別 患者数

城東区内	計
古市	5
今福東	1
今福南	4
今福西	2
中央	1
野江	4
成育	4
関目	6
放出西	6
天王田	8
嶋野東	10
嶋野西	15
新喜多	5
蒲生	3
新喜多東	7
諏訪	15
永田	10
東中浜	88
中浜	20
森之宮	11
計	225

東成区内	計
深江北	0
深江南	3
神路	2
東今里	4
大今里	3
大今里南	0
大今里西	3
東中本	9
中本	13
玉津	1
東小橋	1
中道	5
計	44

大阪市内		計
北部ブロック	淀川区	2
	東淀川区	4
	北区	4
	都島区	12
	旭区	17
	計	39
西部ブロック	西淀川区	3
	此花区	0
	福島区	1
	港区	1
	西区	3
	大正区	3
	計	11
東部ブロック	中央区	7
	浪速区	3
	天王寺区	2
	城東区	225
	鶴見区	22
	東成区	44
	生野区	10
	計	313
南部ブロック	西成区	3
	阿倍野区	1
	住之江区	4
	住吉区	1
	東住吉区	6
	平野区	7
	計	22
合計		385

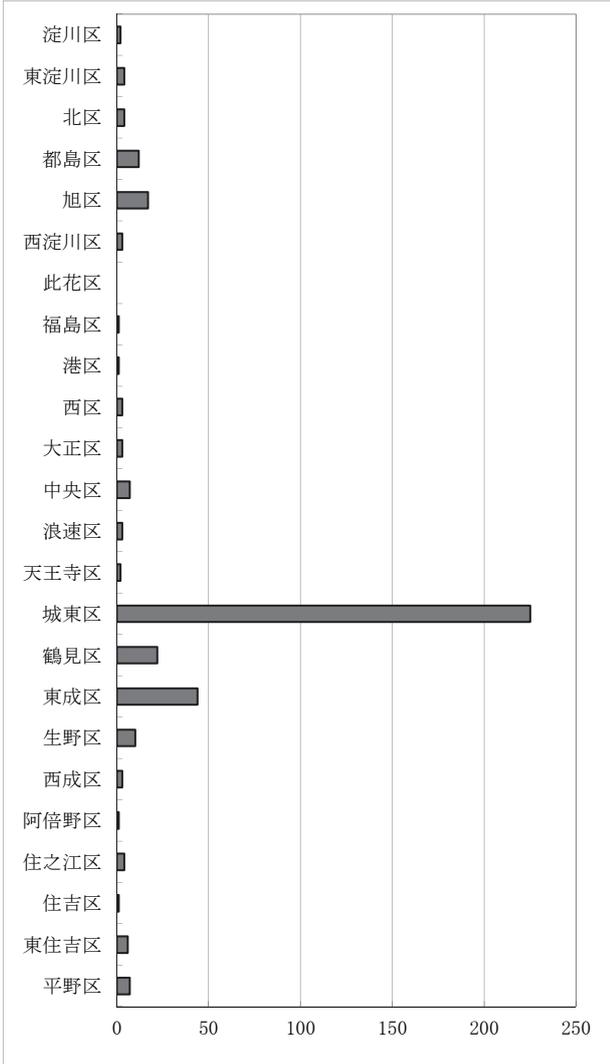
その他		計
住所不定		0
韓国		0
合計		0

総合集計	計
北海道地方	1
東北地方	0
北陸地方	1
関東地方	2
中部地方	5
近畿地方	525
中国地方	2
四国地方	2
九州地方	0
沖縄地方	1
その他	0
総計	539

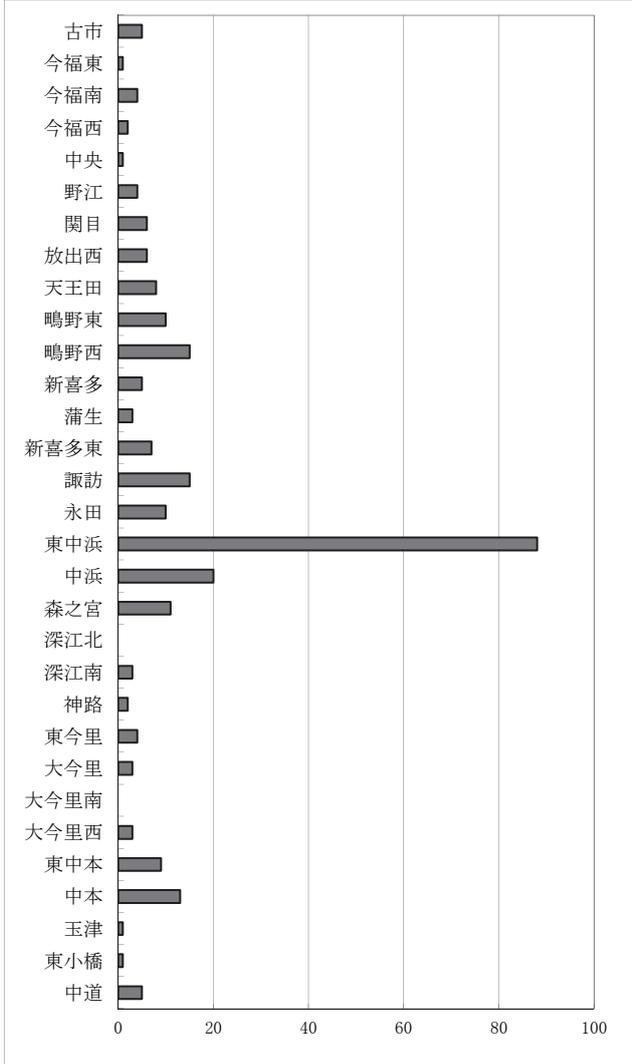
大阪府内		計
大阪市地域	大阪市	385
豊能地域	豊能郡	0
	池田市	0
	箕面市	7
	豊中市	5
	吹田市	5
	計	17
三島地域	茨木市	0
	摂津市	0
	高槻市	2
	三島郡	0
	計	2
北河内地域	守口市	2
	門真市	2
	寝屋川市	5
	大東市	4
	枚方市	5
	交野市	3
	四條畷市	2
	計	23
中河内地域	東大阪市	23
	八尾市	10
	柏原市	3
	計	36
南河内地域	松原市	4
	藤井寺市	1
	羽曳野市	1
	大阪狭山市	1
	富田林市	0
	南河内郡	0
	河内長野市	0
	計	7
堺市地域	堺市	2
泉州地域	高石市	0
	泉大津市	0
	泉北郡	0
	和泉市	1
	岸和田市	1
	貝塚市	0
	泉佐野市	1
	泉南市	0
	阪南市	0
	泉南郡	0
	計	3
合計		475

都道府県別		計
北海道地方	北海道	1
東北地方	青森県	0
	岩手県	0
	宮城県	0
	秋田県	0
	山形県	0
	福島県	0
	計	0
北陸地方	長野県	0
	新潟県	0
	富山県	0
	石川県	1
	福井県	0
	計	1
関東地方	茨城県	0
	栃木県	0
	群馬県	0
	埼玉県	0
	千葉県	0
	東京都	2
	神奈川県	0
	山梨県	0
	計	2
	中部地方	岐阜県
静岡県		0
愛知県		2
三重県		2
計		5
近畿地方	滋賀県	1
	京都府	9
	大阪府	475
	兵庫県	34
	奈良県	6
	和歌山県	0
計	525	
中国地方	鳥取県	0
	島根県	1
	岡山県	0
	広島県	1
	山口県	0
計	2	
四国地方	徳島県	0
	香川県	1
	愛媛県	1
	高知県	0
計	2	
九州地方	福岡県	0
	佐賀県	0
	長崎県	0
	熊本県	0
	大分県	0
	宮崎県	0
	鹿児島県	0
計	0	
沖縄地方	沖縄県	1
合計		539

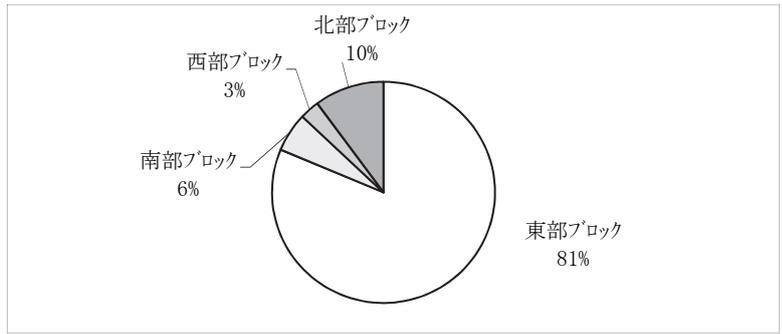
大阪市内患者数



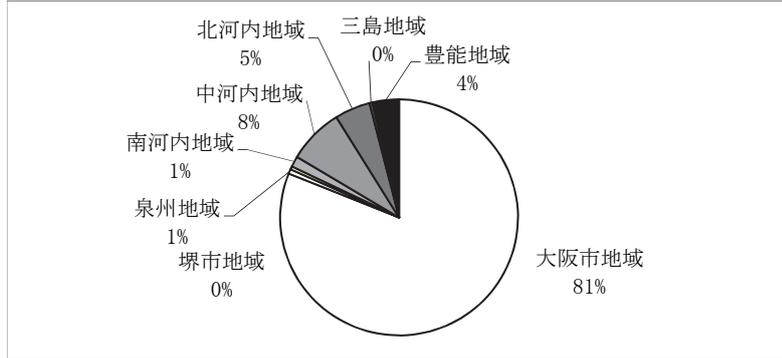
城東区・東成区内患者数



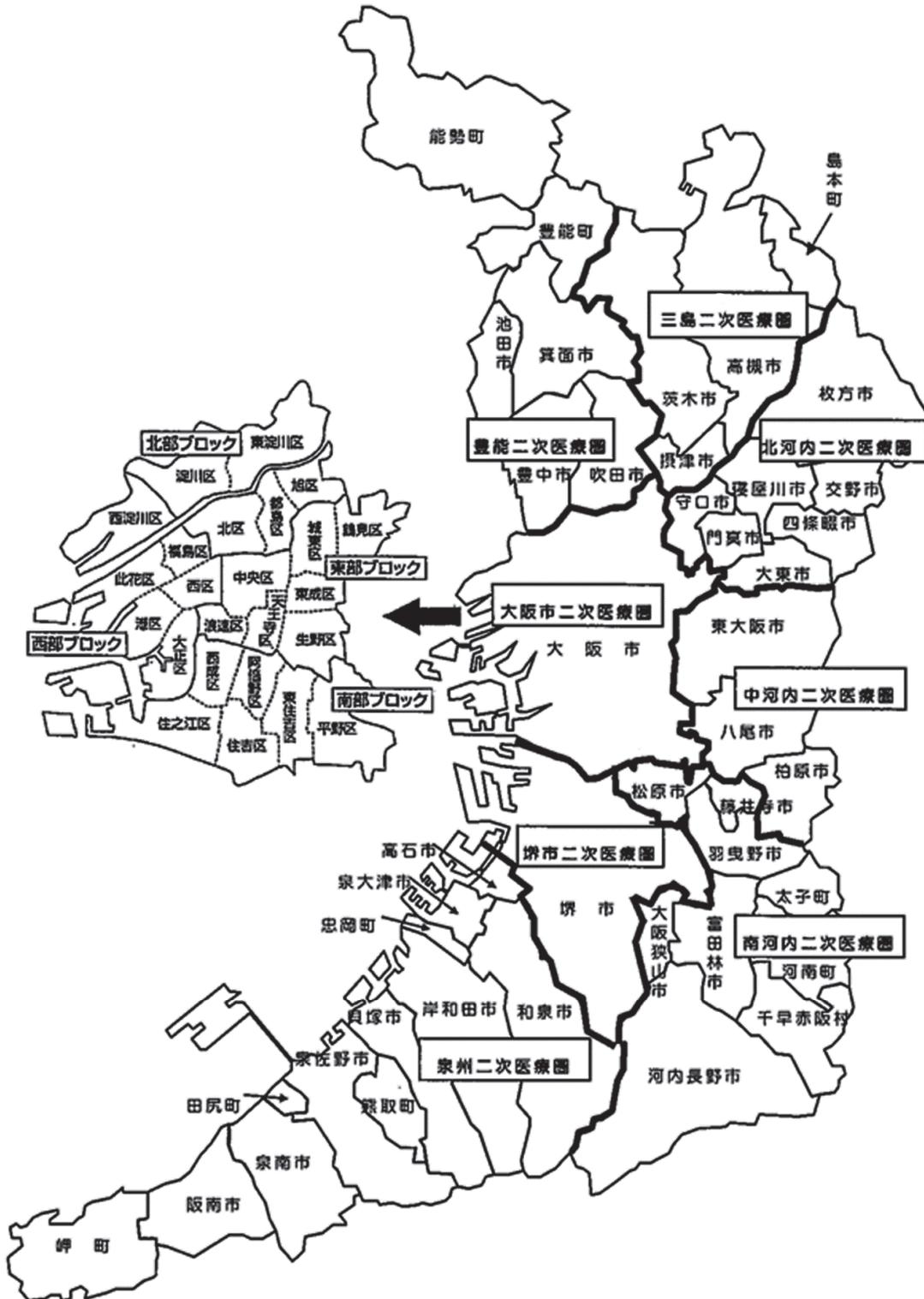
大阪市内分布図



大阪府内分布図



大阪府内診療圏区域図



各施設報告

## ④紹介元医療機関別 件数

紹介元医療機関 (1/2)	件数
無	335
藍の都脳神経外科病院	2
青森新都市病院	1
尼崎総合医療センター	1
育和会記念病院	1
石切生喜病院	1
医誠会病院	5
上山病院	1
宇治徳洲会病院	1
おうクリニック	1
大阪警察病院	2
大阪市立十三市民病院	1
大阪市立総合医療センター	19
大阪市立大学医学部附属病院	2
大阪赤十字病院	2
大阪大学医学部附属病院	1
大阪病院	1
大阪労災病院	2
大手前病院	4
大浜第一病院	1
大道クリニック	16
回生病院	1
加納総合病院	2
萱島生野病院	1
河内総合病院	1
菊地胃腸科内科医院	1
北大阪警察病院	1
北田医院	1
北野病院	8
グリーンライフ	2
甲南病院	1
国立循環器病研究センター	2
国立病院機構大阪医療センター	13
国立病院機構舞鶴医療センター	1
済生会滋賀県病院	1
済生会中津病院	1
済生会野江病院	11
ささき内科・糖尿病クリニック	1
市立宇和島病院	1
市立岸和田市民病院	1
市立東大阪医療センター	2

紹介元医療機関 (2/2)	件数
しんとう整形外科リウマチクリニック	1
摂南総合病院	1
田辺脳神経外科病院	1
多根総合病院	2
啜生会脳神経外科病院	1
道後温泉病院	1
富永病院	2
なにわ生野病院	1
名張市立病院	1
奈良県総合医療センター	1
奈良県立医科大学附属病院	1
西梅田こころとからだのクリニック	1
西宮協立脳神経外科病院	1
根本医院	3
寝屋川生野病院	1
野崎徳洲会病院	2
橋爪医院	1
阪和記念病院	5
東大阪病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
兵庫県立ひょうごこころの医療センター	1
兵庫県立リハビリテーション中央病院	2
広島市立広島市民病院	1
福井県こども療育センター	1
松江赤十字病院	1
松下記念病院	1
三島救命救急センター	1
三豊総合病院	1
南大阪小児リハビリテーション病院	3
箕面市立病院	2
美原病院	1
明治橋病院	1
守口生野記念病院	1
森之宮病院	14
八尾市立病院	1
八尾総合病院	1
八尾はあとふる病院	1
矢木脳神経外科病院	21
淀川キリスト教病院	1
若草第一病院	1
計	539

## ⑤診療科別 紹介率

診療科	紹介無	紹介有	計	科別 紹介率	全体内 紹介率
内科	73	122	195	62.6	59.8
神経内科	15	16	31	51.6	7.8
整形外科	185	55	240	22.9	27.0
小児科	36	6	42	14.3	2.9
泌尿器科	26	5	31	16.1	2.5
計	335	204	539		100.0

## ⑥診療科別 紹介元医療機関件数

内科 紹介元医療機関	件数
無	73
藍の都脳神経外科病院	2
青森新都市病院	1
石切生喜病院	1
医誠会病院	5
宇治徳洲会病院	1
大阪市立総合医療センター	13
大阪市立大学医学部附属病院	2
大阪赤十字病院	2
大阪病院	1
大手前病院	2
大浜第一病院	1
加納総合病院	2
河内総合病院	1
菊地胃腸科内科医院	1
北野病院	7
甲南病院	1
国立循環器病研究センター	2
国立病院機構大阪医療センター	10
国立病院機構舞鶴医療センター	1
済生会滋賀県病院	1
済生会中津病院	1
済生会野江病院	11
ささき内科・糖尿病クリニック	1
市立宇和島病院	1
市立岸和田市民病院	1
市立東大阪医療センター	2
田辺脳神経外科病院	1
多根総合病院	2
道後温泉病院	1
富永病院	2
名張市立病院	1
奈良県総合医療センター	1
西宮協立脳神経外科病院	1
根本医院	3
寝屋川生野病院	1
野崎徳洲会病院	2
阪和記念病院	5
松下記念病院	1
三島救命救急センター	1
三豊総合病院	1
南大阪小児リハビリテーション病院	1
明治橋病院	1
森之宮病院	6
八尾はあとふる病院	1
矢木脳神経外科病院	16
計	195

神経内科 紹介元医療機関	件数
無	15
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	4
大阪労災病院	1
大道クリニック	1
グリーンライフ	1
国立病院機構大阪医療センター	1
摂南総合病院	1
奈良県立医科大学附属病院	1
広島市立広島市民病院	1
矢木脳神経外科病院	2
淀川キリスト教病院	1
若草第一病院	1
計	31

整形外科 紹介元医療機関	件数
無	185
尼崎総合医療センター	1
育和会記念病院	1
上山病院	1
おうクリニック	1
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	1
大阪労災病院	1
大手前病院	2
大道クリニック	12
回生病院	1
萱島生野病院	1
北大阪警察病院	1
北野病院	1
グリーンライフ	1
国立病院機構大阪医療センター	2
しんとう整形外科リウマチクリニック	1
賑生会脳神経外科病院	1
なにわ生野病院	1
西梅田こころとからだのクリニック	1
橋爪医院	1
東大阪病院	1
兵庫県立リハビリテーション中央病院	2
松江赤十字病院	1
南大阪小児リハビリテーション病院	2
箕面市立病院	2
美原病院	1
森之宮病院	8
八尾市立病院	1
八尾総合病院	1
矢木脳神経外科病院	3
計	240

小児科 紹介元医療機関	件数
無	36
大阪市立総合医療センター	1
大阪大学医学部附属病院	1
北田医院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
兵庫県立ひょうごこころの医療センター	1
福井県こども療育センター	1
計	42

泌尿器科 紹介元医療機関	件数
無	26
大阪市立十三市民病院	1
大道クリニック	3
守口生野記念病院	1
計	31

## (4) 平均在院日数・病棟別・月別

	H29								H30				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般病棟	17	17	12	14	12	/	/	/	/	/	/	/	
障害者施設等 10 : 1 入院基本料	/	/	/	/	/	26	21	25	26	28	30	22	
地域包括ケア病床	30	44	20	28	27	26	24	29	20	45	29	35	
回復期 リハビリテーション病棟	73	105	102	83	82	119	65	77	67	88	105	116	

## (5) 病床稼働率・病棟別・月別

	H29								H30				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般病棟	71.3	73.8	64.0	59.8	71.1	/	/	/	/	/	/	/	
障害者施設等 10 : 1 入院基本料	/	/	/	/	/	72.1	72.8	76.3	66.7	61.2	79.3	67.4	
地域包括病床	103.3	102.3	104.0	94.8	94.8	99.0	81.0	94.3	86.8	88.1	102.5	75.5	
回復期 リハビリテーション病棟	83.2	89.6	86.5	84.4	85.4	93.3	86.0	82.5	84.9	83.4	84.2	76.9	

## (6) 外来患者診療科別延べ数

	H29								H30				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内科	1352	1375	1400	1219	1180	1070	1133	1124	1103	1052	996	850	
泌尿器科	188	180	216	194	198	187	187	175	177	/	/	/	
整形外科	806	820	885	857	800	823	765	774	786	732	714	737	
リハビリテーション科	641	703	816	824	805	723	668	609	602	511	525	558	
小児科	50	54	46	55	51	37	58	63	45	78	79	79	
外科	14	15	16	13	8	21	20	13	19	7	16	25	
在宅ケア科	164	166	197	191	213	166	109	100	107	101	93	47	
歯科	985	1109	1204	1062	957	1058	1115	1112	1113	1031	1077	1068	
合計	4200	4422	4780	4415	4212	4085	4055	3970	3952	3512	3500	3364	